ND-22846(J)
第1版
2001年4月

WARPSTAR
「ﾌﾞﾛｰﾄﾞﾊﾞﾝﾄﾞ CATV / ADSL ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ」対応について

【対応機種】　AtermWL50T&WL11U、AtermWL50T&WL11C、WB50T
AtermWL30A&WL11U、AtermWL30A&WL11C
AtermWL20R&WL11U、AtermWL20R&WL11C、WB20R
【ソフト名】　AtermWL/WB 用ファームウェア　Ver.3.00
AtermWL/WB 用らくらくアシスタント　Ver.3.00
【著作権者】　日本電気株式会社
【対象ユーザ】　上記のAtermWL シリーズをWindows® Me/98/2000（日本語版）でご使用のお客様
【転載条件】　転載禁止

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

もくじ

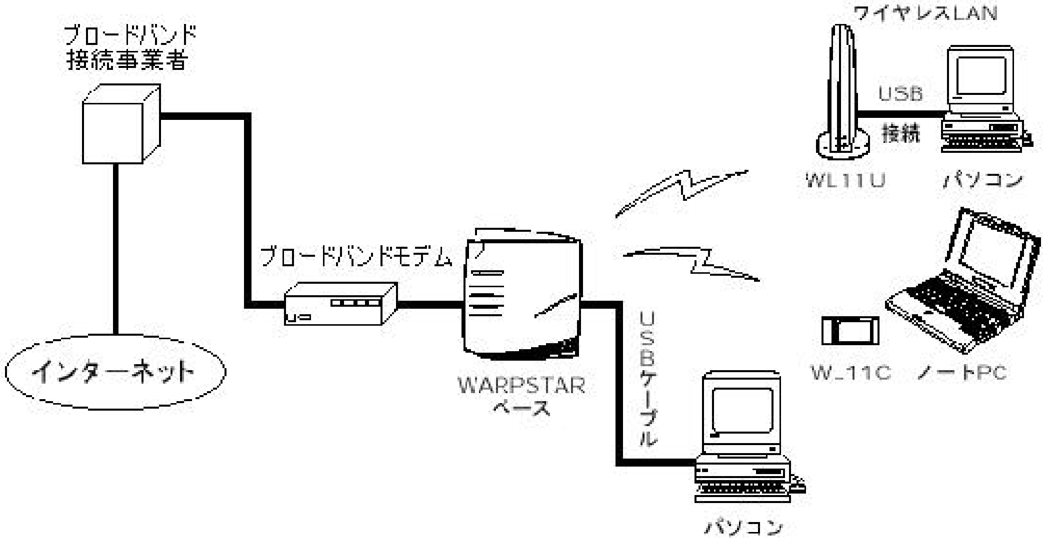
はじめに

本書は AtermWL50T、AtermWB50T 、AtermWL30A、AtermWL20R、AtermWB20R（以降、WARPSTER ベースと称します）でブロードバンド（CATV/ADSL 網）を使用し、ネットワーク上のパソコンからインターネットに接続できるようになるまでについて説明しています。WARPSTER ベースをバージョンアップしたあとブローバンド（CATV/ADSL 網）に接続する前に必ずお読みください。

1 バージョンアップしたらできること

【1-1 ブロードバンド回線（CATV/ADSL 網）での ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ 接続 】

今回のバージョンアップで WARPSTAR（WL50T、WB50T、WL30A）は、ISDN回線の他に CATV/ADSL網を使用し、インターネットに接続できるようになりました。また、WARPSTAR（WL20R、WB20R）では ADSL網に接続できるようになりました。WARPSTARをブロードバンドモデム（CATVケーブルモデム/ADSLモデム）に接続して、WARPSTARベース、WARPSTARサテライトに接続したパソコンからインターネットに接続することができます。

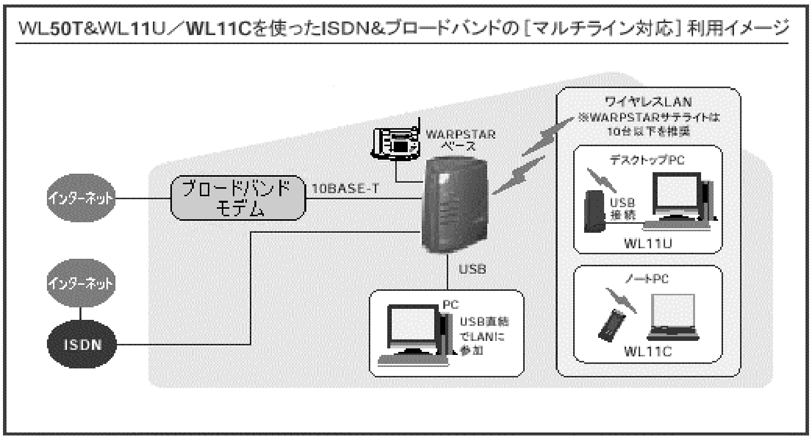


・CATV/ADSLインターネット接続は CATVケーブルモデム/ADSLモデムとパソコンの間にWARPSTARを接続することでご利用になれます。接続できるCATV/ADSL接続事業者は、ホームページ AtermStation にて順次ご案内いたしますので、事前にご確認ください。
・WARPSTARに CATVケーブルモデムと ADSLモデムは同時に接続できません。どちらか片方のみを接続します。
・接続事業者によっては、WARPSTARのようなルータ機能をもつ装置の接続を制限している場合があります。ご利用にあたっては、あらかじめ接続事業者にご確認ください。
・CATV/ADSL接続の場合、10BASE-TポートはLANポートとして、パソコンに接続できません。
※ WB50T、WB20Rで無線LAN機能を使用するには、別売の WL11Cが必要です。

【1-2 ブロードバンドとＩＳＤＮ回線を切り替えて使う（マルチライン)】

今回のバージョンアップで WARPSTAR（WL50T、WB50T、WL30A）では、ブロードバンド（CATV等）とISDN回線を切り替えて使用できるようになりました。ブロードバンド接続とISDN回線への接続を用途に応じて使い分けることができます。マルチラインを使用するかどうかの設定はWARPSTER導入ウィザードで行います。

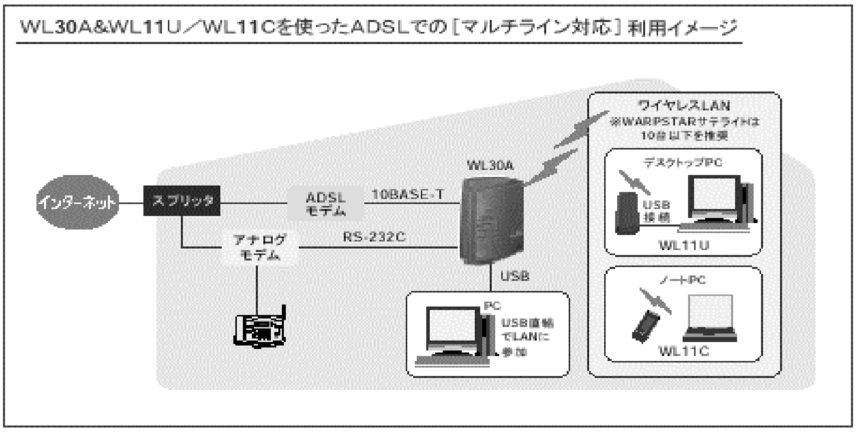
	CATV接続の場合	ADSL接続の場合
WARPSTAR 導入ウィザードで設定する（サテライト）	P.17	P.53
WARPSTAR 導入ウィザードで設定する（ USB ポート）	P.25	P.61
接続の切り替えはアクセスマネージャで行います	P.39	P.74



※ WB50T で無線 LAN 機能を使用するには、別売の WL11C が必要です。
※ WL30AでISDNに接続するには別途TAが必要です。

アナログモデムでマルチライン対応

WL30Aでは電話側にアナログモデムを接続すると､ADSLのブロードバンドとアナログモデムの[マルチライン対応] ができます。
ADSLサービスと特定のプロバイダなどへのアナログモデムでの接続を使いわけることができます。



《お知らせ》 WL20R、WB20Rではマルチラインはご利用できません。

【1-3 ユーティリティの変更について 】

本ブロードバンド（CATV/ADSL）対応のバージョンアップでは、添付ユーティリティも機能アップしています。

変更点

・アクセスマネージャ

従来の「ダイヤルアップマネージャ」にブロードバンド接続の機能が追加されて名称が「アクセスマネージャ」に変更になりました。

・ベースマネージャ

ブロードバンド接続のための動作モードの設定などが追加されています。

詳しくはそれぞれのヘルプを参照してください。

■ヘルプファイルの見かた

［スタート］→［プログラム］→［Aterm　WARPSTARユーティリティ］→［Aterm WARPSTARアクセスマネージャヘルプ］または［Aterm WARPSTARベースマネージャヘルプ］を選択します。（セットアップの際、ベースマネージャをあとからインストールした場合は［スタート］→［プログラム］→［Aterm WARPSTARベースマネージャ］→［Aterm WARPSTARベースマネージャヘルプ］を選択します。）

2 CATV でインターネット接続しよう

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。

Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。

ここでは、CATV モデム、ルータタイプの ADSL モデム（以降ブロードバンドモデムと呼びます）その他既存の LAN に接続してインターネット接続する場合を説明しています。

【 2-1 ブロードバンドに接続する前に 】

WARPSTAR のバージョンを確認しましょう

①ファームウェアは次のバージョン以降になっていますか。

ファームウェア：Ver.3.00 以降

■ファームウェアバージョンの確認のしかた

・［スタート］→［プログラム］→［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］→［Aterm WARPSTAR らくらくアシスタント］を選択し、らくらくアシスタントを起動します。

・［ファームウェアのアップデート］ボタンをクリックします。

・［WARPSTAR 本体］をチェックして［ OK ］をクリックします。

・［次へ］をクリックします。

・［AtermWL の情報］欄のファーム（本体）のバージョンを確認します。
［キャンセル］をクリックします。
ファームウェアのバージョンが Ver.3.00 以降でない場合は、バージョンアップを行う必要があります。ホームページ AtermStation に記載されている手順に従うか、WARPSTAR に添付されている CD-ROM に収録されている「データ通信ガイド」を参照して、バージョンアップを行ってください。

②ユーティリティは次のバージョン以降のものが用意されていますか。

ユーティリティ：Ver.3.00 以降

■ユーティリティバージョンの確認のしかた

・ホームページ AtermStation からダウンロードしてきたファイル名の最後の３桁がユーティリティのバージョンです。バージョンが Ver.3.00 以降でない場合は、ホームページ AtermStation からご利用の機種にあわせてユーティリティをダウンロードしてください。

《お願い》

●ファームウェアのバージョンアップを行なう前に新しいバージョンのユーティリティをインストールすると、導入ウィザードが途中で止まってしまう場合があります。必ず、ファームウェアのバージョンアップを先に行なってください。

ブロードバンドに接続する準備

ここではまだ、WARPSTER ベースとブロードバンドモデムを接続しないでください。実際の接続は、らくらくアシスタントのインターネット接続のウイザードの指示に従って行います。
(→P.30)

WARPSTAR ベースをCATV に接続する前に次のことを確認しましょう

・ブロードバンド接続事業者およびプロバイダ会社とのインターネット接続契約はお済みですか？

WARPSTAR をお使いになる前に、ブロードバンド接続事業者およびプロバイダ会社との契約を済ませておいてください。また、事前に通信回線が開通していることをご確認ください。

《お願い》

●WARPSTAR ベースとブロードバンドモデムを接続したあとブロードバンドモデムを設定するには、「2-6 インターネットに接続する」までの設定を終了してから設定してください。

・WARPSTAR の接続および設定には、下記のものが必要です。

① ブロードバンドモデム

② IP アドレスなどの設定情報

③接続ケーブル

WARPSTAR ベースとブロードバンドモデムを接続するための 10BASE-T ケーブル（ストレート）は添付されていません。お客様でご用意ください。

・カスケード切り替えスイッチを切り替えてください。

WARPSTARベースの電源を切り、カスケード切り替えスイッチをHUB側にします。再度電源を入れてください。

《お知らせ》

●WL50T、WB50T、WL30A で ISDN 回線に WARPSTAR ベースを接続している場合は ISDN 回線の接続は、そのままでブロードバンドに接続できます。

【 2-2 パソコンと接続するポートを確認する 】

お使いのパソコンに搭載されているポートの種類ごとに、接続のしかたを確認しましょう。
ここでは確認するだけで、パソコンと WARPSTARは接続しないでください。

※ポートの種類についてよくわからない方は、お使いのパソコンのポートと図をよく見比べて接続するポートを確認してください。

●接続ポートを確認する前に（ WARPSTARが対応している OS ）
お使いのパソコンが WARPSTARをご利用になれる環境になっているか確認してください。
WARPSTARは以下の OS でのみご利用になれます。

・Windows® Me
・Windows® 98
・Windows® 2000

WARPSTAR対応の OS をご利用の場合でも、お使いのパソコンの環境によっては、必要なネットワークコンポーネント（ TCP/IP ）がインストールされていない場合があります。必要なネットワークコンポーネントがインストールされているかどうかを確認し、インストールされていない場合は、WARPSTARに添付の CD-ROM に収録されている「データ通信詳細ガイド」「 1-2 ファイルとプリンタの共有」を参照してインストールしてください。

《お願い》
● Windows® Me / 98 をご利用の場合、同じパソコンに複数のサテライトや USBポートを接続して同時に使用することはできません。
●ブロードバンド接続（ローカルルータモード）の場合、10BASE-TポートはLANポートとして、パソコンと接続できません。

WRAPSTARベースを接続する前に

WARPSTARベースを接続する前に次のことを確認しましょう。

1.ブロードバンドモデムと回線は正しく接続されていますか？

接続の方法や確認は、ブロードバンドモデムの取扱説明書を参照してください。

2.ブロードバンド接続事業者およびプロバイダ会社とのインターネット接続契約はお済みですか？

・WARPSTARをお使いになる前に、ブロードバンド接続事業者およびプロバイダ会社との契約を済ませておいてください。また、事前に通信回線が開通していることをご確認ください。

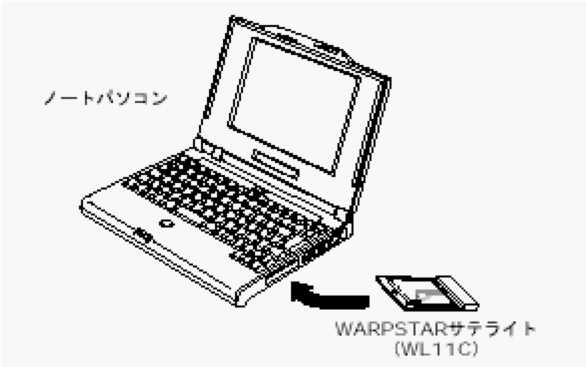
・ WARPSTARの接続および設定には、下記のものが必要です。

① ブロードバンドモデム

② IPアドレスなどの設定情報

・既にパソコンとWARPSTARを接続している場合は「2-3 WARPSTARサテライト（WL11U）/（WL11C）にパソコンを接続する」または、「2-4 WARPSTARベースのUSBポートにパソコンを接続する」にすすみます。

ＰＣカードタイプ　WARPSTARサテライトを使用する



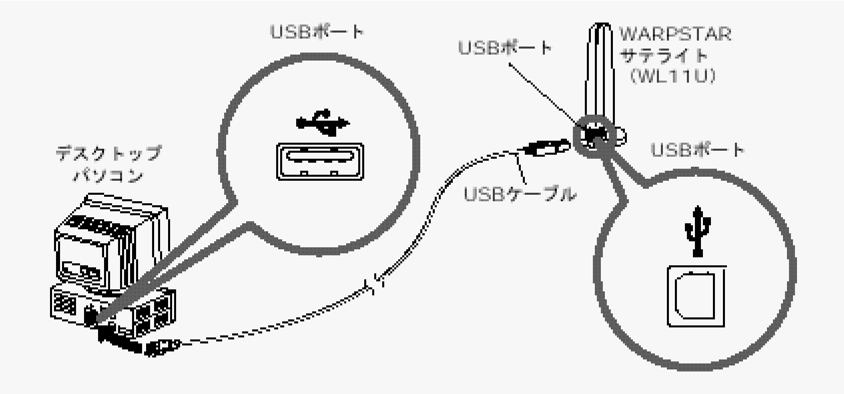
PC カードスロットがあるパソコンには、WARPSTAR サテライト（ WL11C ）を取り付けることができます。ここではまだ接続しないでください。以下の順で設定を行ってください。

「 2-3 WARPSTARサテライト（ WL11U ）/（ WL11C ）にパソコンを接続する 」
↓
「 2-5 インターネットの接続設定をする 」

《お願い》

● WARPSTARサテライト（ WL11C ）をパソコンに取り付けるためには、32ビットPCカードドライバが正常にインストールされている必要があります。
● WARPSTARサテライト（ WL11C ）はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等により給電が停止した場合、通信を行う前にカードを挿し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
● WB50T、WB20R の場合は拡張カードスロットに WL11C（別売）を装着して、ワイヤレス LAN 対応に拡張する必要があります。

ＵＳＢタイプ WARPSTARサテライトを使用する



USBポートがあるパソコンには、WARPSTARサテライト（ WL11U ）を取りつけることができます。ここではまだ接続しないでください。以下の順で設定を行ってください。

WARPSTAR サテライト（ WL11U ）に接続する場合

「 2-3 WARPSTARサテライト（ WL11U ）/（ WL11C ）にパソコンを接続する 」

《お願い》

● WL11U はパソコンからの給電のみで動作します。使用する USBポートの給電能力が500mAを保証しているパソコンまたは USBハブをご使用ください。

● WB50T、WB20Rの場合は拡張カードスロットに WL11C（別売）を装着してワイヤレス LAN対応に拡張する必要があります。

●スタンバイやサスペンド機能は使用しないでください。
WL11U を接続したままパソコンをスタンバイ／サスペンド状態にすると、お使いのパソコン環境によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。このような場合は、パソコンのスタンバイやサスペンド機能を無効にしてご使用ください。

● WARPSTARサテライト（ 子機 ）を複数接続しないでください。
WARPSTARサテライト（ WL11U ）/（ WL11C ）を同じパソコンに複数同時に接続することはできません。また、他のネットワークデバイス（ USB-LAN ポート、10BASE-Tポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、必ず使用するネットワークデバイスは1つのみにしてください。

●デバイスマネージャの［電源の管理］タブの設定は変更しないでください。
Windows のデバイスマネージャで WL11U のプロパティを開くと、［電源の管理］タブが表示されることがありますが、［電源の管理］タブ内の設定は初期状態から変更しないでください。変更するとパソコンの動作が不安定になる場合があります。もし、誤って変更してしまった場合は再度［電源の管理］タブを表示して、初期状態に戻すか、ドライバアンインストーラを起動して WL11Uドライバをアンインストールし、WARPSTAR導入ウィザードから再インストールを行ってください。

［電源の管理］タブの初期状態

■ Windows® 98

節電のためにコンピュータの電源を自動的に切る ……………………………有効

コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う ……………………無効

■ Windows® Me

節電のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする ……有効

コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う ……………………無効

■ Windows® 2000

電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする‥有効

このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができる ……….無効

●サテライトマネージャやアクセスマネージャ起動中に USBケーブルを抜き挿しするとパソコン動作が不安定になる場合があります。サテライトマネージャやアクセスマネージャ起動中は、USBケーブルの抜き挿しをしないでください。お使いのパソコン環境によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。ケーブルの抜き挿しを行う場合は、サテライトマネージャやアクセスマネージャをパソコンのタスクトレイから終了した後に行うかパソコンの電源を切ってから行ってください。

●WL11U では装置ごとにハードウェアウィザードが起動します。

WL11U は、装置ごとに固有のシリアル番号を保持しているため、Windows はそれぞれを別個のデバイスとして検出します。例えば、2台以上の WL11U をお持ちの場合、1台目の WL11U を使って正しくデバイスドライバをインストールしたパソコンに別の2台目の WL11U を接続すると、新たにWindows のハードウェアウィザードが起動し、別のデバイスドライバのインストールをはじめます。ハードウェアウィザード画面の指示に従ってインストール操作を進めることで2台目の WL11U もネットワークデバイスとしてインストールすることもできます。ただし、ネットワークデバイスのプロパティ情報（TCP/IPプロトコルの設定等）を変更しているお客様は、プロパティ情報を再設定する必要がありますのでご注意ください。

複数の WL11U をお持ちの場合は、パソコンごとに使用する WL11U を決めてお使いいただくことをお勧めします。

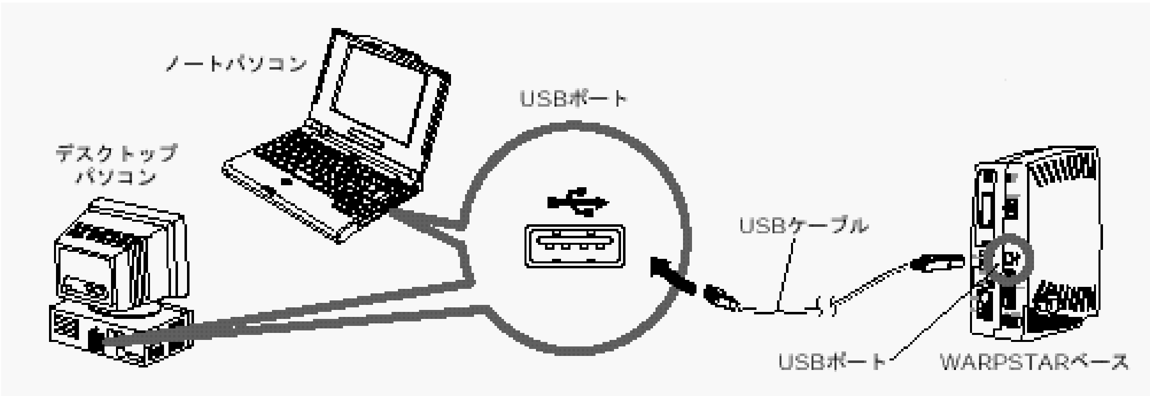
※正常に動作しない場合の対策

1台のパソコンに多数の WL11U を組み込んだり、2台目以降の WL11U インストール時にハードウェアウィザードの操作を誤ると、正常に動作しない場合があります。

その場合は、らくらくアシスタントの「ドライバのアンインストール」を起動して、いったん WL11Uドライバをアンインストールしてから、もう一度らくらくアシスタントの「WARPSTAR 導入ウィザード」を起動して WL11U のインストールを行ってください。

（アンインストーラでは、複数の WL11U の設定を全て削除します）

WARPSTARベースの USBポートを使用する



お使いのパソコンに USBポートがある場合は、WARPSTARベースの USBポートに、添付品の USB ケーブルで接続することができます。以下の手順で設定を行ってください。

WARPSTARベースに接続する場合

「 2-4 WARPSTARベースの USBポートにパソコンを接続する 」

↓

「 2-5 インターネットの接続設定をする 」

《お願い》

● USB接続でご使用いただく場合、ご使用になるパソコンによっては、スタンバイやサスペンド機能が使用できない場合があります。
あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。

【2-3 WARPSTARサテライト(WL11U)/(WL11C)にﾊﾟｿｺﾝを接続する】

WARPSTARサテライト（ WL11U ）/（ WL11C ）にパソコンを接続するときは、①ドライバのインストール→②パソコンの接続→③ LANの設定の順で設定を行っていきます。
これらは、すべてらくらくアシスタントの［ WARPSTAR導入ウィザード］で行います。
まず最初に、お使いのパソコンにらくらくアシスタントをインストールしてください。

《お願い》

- Ethernetインタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LANカード機能を停止させないとWARPSTARサテライトのドライバが正しくインストールできない場合があります。
  LANカード機能を停止させてから、WARPSTAR導入ウィザードの設定を行ってください。
- WARPSTARサテライトを増設するときは、それぞれに P.14～P.23の設定を行ってください。
- ユーティリティの指示があるまで WL11U 、WL11C をパソコンに接続しないでください。
  WB50T、WB20Rで WARPSTARサテライトによるワイヤレス LAN機能をご利用になるには、別売の WL11Cを拡張カードスロットに取りつけ、別途 WARPSTARサテライトをご購入いただく必要があります。

WARPSTAR ベースのドライバをアンインストールする

WARPSTAR サテライトの古いドライバをアンインストールします。

1．らくらくアシスタントを起動する。
2．［ドライバのアンインストール］をクリックする。
3．画面の指示に従ってらくらくアシスタントを終了する
4．アンインストールするドライバを選択する
5．画面の指示に従ってアンインストールを行う

らくらくアシスタントをアンインストールする

古いらくらくアシスタントをアンインストールします。

1．［スタート］→［プログラム］→［ Aterm WARPSTAR ユーティリティ］→［ユーティリティのアンインストール］の順に選択する
2．画面の指示に従ってアンインストールを行う

らくらくアシスタントをインストールする

1．ホームページ AtermStationからダウンロードしてきたファイルをダブルクリックする

2．［次へ］をクリックする



3．［次へ］をクリックする



4．画面の同意書を読み、同意できる場合は［次へ］をクリックする



5．セットアップ方法を選択して、［次へ］をクリックする

［標準］を選択すると、インターネットや LANへの接続に必要なユーティリティがインストールされます。

［完全］を選択すると、［標準］に加えて LAN機能の詳細を設定するユーティリティであるベースマネージャもインストールされます。



6．表示されたインストール先へインストールする場合は、［次へ］をクリックする

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。



7．［はい］をクリックする。

8．［ READMEの表示 ］にチェック が入っていることを確認し、［完了］をクリックする



9. **README をよく読んで、[README] 画面を閉じる**

インストールが完了し、WARPSTAR導入ウィザードが起動します。



10. **続けて WARPSTAR 導入ウィザードで LANの設定を行う**



？ らくらくアシスタントを起動するには

らくらくアシスタントを終了させた後に、再度らくらくアシスタントを起動するときは、［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］—［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］—［Aterm WARPSTAR らくらくアシスタント］をクリックします。

《お知らせ》

● WARPSTARらくらくアシスタントをインストールすると、インターネット接続や WARPSTAR の設定に必要な以下のユーティリティが自動的にインストールされます。

・WARPSTARらくらくアシスタント

・WARPSTARアクセスマネージャ

・WARPSTARサテライトマネージャ（サテライトをインストールした場合のみ）

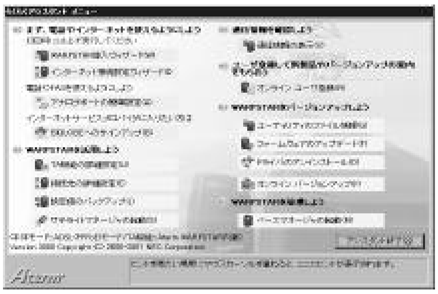
・WARPSTARベースマネージャ（セットアップの方法で［完全］を選択してインストールした場合のみ）

※ WARPSTARベースマネージャは、あとからインストールすることもできます。

WARPSTAR導入ウィザードで設定する（サテライト）

1．WARPSTAR導入ウィザードを起動する

初めてらくらくアシスタントをインストールしたとき以外は、らくらくアシスタントを起動し、メニュー画面で［WARPSTAR導入ウィザード］ボタンをクリックしてください。



2．［次へ］をクリックする



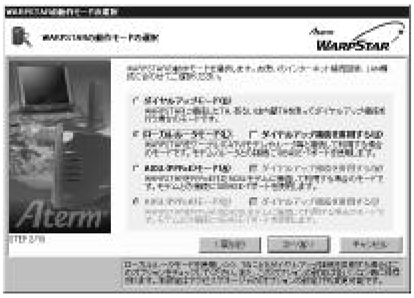
3．WARPSTARの動作モードを選択して、［次へ］をクリックする

ここでは、［ローカルルータモード］を選択し、ケーブルモデムを接続して利用する場合を説明します。

<WL20R、WB20Rの場合>



<WL50T、WB50T、WL30Aの場合>



［ダイヤルアップ接続を併用する］にチェックをすると、CATV接続とダイヤルアップ接続を切り替えて使用できます。

《お知らせ》

ローカルルータモードに設定してもダイヤルアップの接続画面が表示される場合は、アクセスマネージャの設定の変更が必要です。（→P.36）

4．［ワイヤレス LAN（ USBボックス ）］または［ワイヤレス LAN（カード）］のどちらかをチェックして、［次へ］をクリックする

WL11U をご利用の場合は［ワイヤレス LAN （USBボックス）］、WL11Cをご利用の場合は［ワイヤレスLAN（カード）］をクリックしてください。



5．［実行］をクリックする



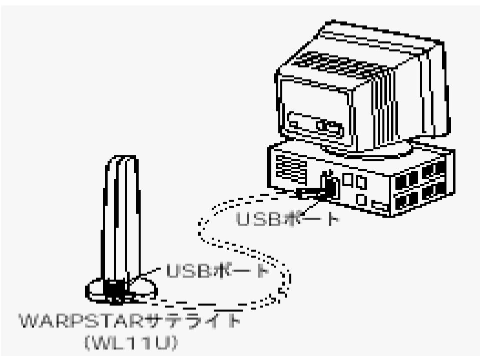
6．次の画面が表示されたら、WARPSTAR サテライトをパソコンに接続（ WL11U ）、または取り付け（ WL11C ）する

●画面は WL11C の場合です



●WL11U を接続する

WL11U の USBポートとパソコンの USBポートを添付の USBケーブルで接続するコネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認してしっかり差し込んでください。



●WL11C を取り付ける

パソコンのカードスロットに WL11Cを取り付けます。コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。

ドライバが自動的にインストールされます。

ドライバをアンインストールしたいときは、P.22を参照してください。



7．［次へ］をクリックする



8．WARPSTAR ベースの電源をいったん切ったあと、再び電源を入れる。しばらくして、（ Power ランプ、Ready ランプ、Data ランプが交互に点灯したあと）Power ランプが緑色に点灯します。

9．WARPSTAR ベースの電源を入れたあと［実行］をクリックする



WARPSTAR ベースを検索します。
（ネットワークの参照といいます）

10．接続する WARPSTAR ベースのネットワーク名を選択して［ OK ］をクリックする



> **《お知らせ》**
>
> ●工場出荷時のネットワーク名は、
> 「WARPSTAR- ××××××」
> （××××××は WARPSTARベースの背面に記載されている10BASE-TのMACアドレス下6桁です。）

> **《お願い》**
>
> ●WAPRSTAR ベースの電源を入れたあと、30 分以内に手順９を行ってください。
> 「ネットワークが見つかりません。」と表示された場合は［ OK ］をクリックして［ネットワーク名］の欄に直接ネットワーク名を入力してください。

11．［ OK ］をクリックする

［通信モード］は［アクセスポイント通信］の設定のままにしてください。
サテライトマネージャの設定が終了します。



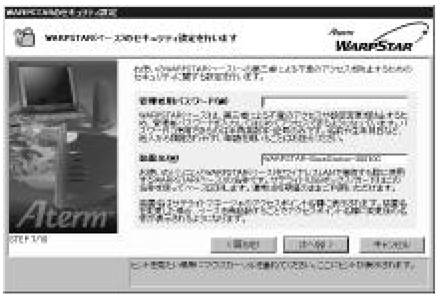
12．［次へ］をクリックする



13．LAN の設定を入力する

①［管理者用パスワード］にWARPSTARベースの設定を変更するためのパスワードを入力します。
パスワードには任意の英数字半角20文字まで入力できます。

②［装置名］には、WARPSTAR ベースの名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。



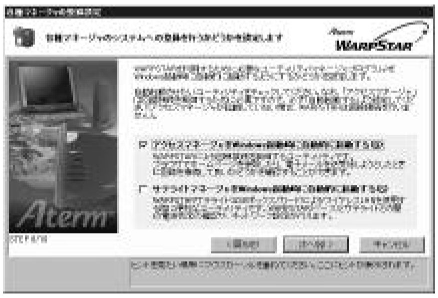
14.［次へ］をクリックする

※ WARPSTARベースに「管理者用パスワード」が登録済みの場合は、この画面はスキップされます。

15. パソコンを起動したときに自動起動するユーティリティを設定する

［アクセスマネージャを Windows起動時に自動的に起動する］がチェックされていることを確認します。

サテライトマネージャを自動的に起動するときは、［サテライトマネージャをWindows起動時に自動的に起動する］をチェックします。



16.［次へ］をクリックする

17. 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

設定内容をWARPSTARベースに登録します。



18.［設定終了］をクリックする



設定の登録が終了し、らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

初めてらくらくアシスタントをインストールしたときは、［接続設定］をクリックすると自動的にインターネット接続ウィザードが起動します。

P.30の手順６に進みます。

19. 続けてインターネット接続の設定を行なう

らくらくアシスタントから WARPSTAR導入ウィザードを起動した場合は、P.30手順３に進みます。

《お知らせ》

●初めてらくらくアシスタントをインストールしたとき以外で WARPSTAR導入ウィザードを起動するときは、らくらくアシスタントを起動し、メニュー画面で［ WARPSTAR導入ウィザード］ボタンをクリックしてください。

●管理者用パスワードは、WARPSTARベースをベースマネージャで設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード ____________________

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、ディップスイッチで WARPSTARベースを工場出荷状態に戻して設定を消去してください。

●WL11C の取り扱いについて

〈取り付けるとき〉

・WL11C のコネクタ部分に手を触れないようにしてください。

・コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

〈取り外すとき〉

・WL11C を取り外すときは、以下の操作でPCカードを取り外せる状態にしてから取り外してください。

①タスクトレイのPC カードアイコンを左クリックする

②[Aterm WL11C （ PC-WL/11C ）の停止］をクリックする（Windows® 98 の場合は［Aterm WL11C （ PC-WL/11C ）の中止］をクリックする）

③「Aterm WL11C （ PC-WL/11C ）は安全に取り外すことができます。」が表示されたら、［ OK ］をクリックする

④WL11C を取り外す

《お願い》

● WL11C の取り付け位置はパソコンにより異なりますので、必ずパソコンの取扱説明書を参照し、各メーカーの定める手順にしたがって取り付けてください。

●らくらくアシスタントが起動しないなどの理由で、手動で WARPSTAR をセットアップする場合は、それぞれに添付のCD-ROM に収録されている「データ通信詳細ガイド」「4 ドライバの手動インストール」を参照してください。

? こんなときは

次の画面が表示された場合は、①～⑥を確認して［再試行］をクリックしてください。
パソコンのタスクトレイに「アクセスマネージャ」のアイコンが表示されている場合は、①～⑥の操作の前に、「アクセスマネージャ」のアイコンを右クリックし、［終了］をクリックして「アクセスマネージャ」を終了させてから行ってください。



〈Windows® Me/98 の場合〉

① ［スタート］－［ファイル名を指定して実行（R)］をクリックする
② “ winipcfg ”を入力して［ OK ］をクリックする
③ Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウの ▼ をクリックして“ WL11U（ PC-WL/11U ）”を選択する
④ ［すべて書き換え（W)］をクリックする
⑤ IPアドレスが“192.168.0.×××”になることを確認する
⑥ ［ OK ］をクリックする

※手順③は WARPSTAR サテライト（ WL11U ）の場合です。
WARPSTARサテライト（ WL11C ）のときは“ WL11C （ PC-WL/11C ）”を選択してください。

? WARPSTAR サテライトのドライバをアンインストールするには

①らくらくアシスタントを起動する
②［ドライバのアンインストール］をクリックする
③画面の指示に従ってらくらくアシスタントを終了する
④アンインストールするドライバを選択する
⑤画面の指示に従ってアンインストールを行う

WARPSTARベースとの通信状態を確認する(サテライトマネージャ)

サテライトマネージャを起動すると、WARPSTARベースと　WARPSTARサテライトの通信状態を確認することができます。

1．タスクトレイのサテライトマネージャのアイコンを右クリックする



2．［状態］をクリックする

WARPSTARベースと　WARPSTARサテライトの通信状態が表示されます。

3．通信状態を確認したら、［閉じる］をクリックする



無線の通信状態が「良好」となることを確認してください。「良好」と表示されないときは「良好」と表示される位置までパソコンを移動してください。

《お知らせ》

● WARPSTAR は、無線データ通信を行ううえで必要なセキュリティ機能としてWEPとMACアドレスセキュリティを搭載しています。各設定方法の詳細については、ベースマネージャのヘルプを参照してください。

・WEP とは

WEP（ Wired Equivalent Privacy ）は、ユーザが指定した任意の文字列（キー）からデータの暗号化を行う機能です。これにより、WARPSTAR ベースとサテライトとの間で送受信される無線通信データを暗号化して保護することができます。

・MAC アドレスセキュリティ機能とは

お使いの WARPSTARが登録されたサテライトとのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、登録されていない他のサテライトからLANやインターネットへ接続するのを防ぐことができます。

【 2-4 WARPSTARベースの USBポートにパソコンを接続する 】

WARPSTARベースの USBポートにパソコンを接続するときは、①ドライバのインストール→②パソコンの接続→③LANの設定の順で設定を行っていきます。これらは、［WARPSTAR導入ウィザード］で行います。まず最初に、お使いのパソコンにらくらくアシスタントをインストールして、WARPSTAR導入ウィザードを起動してください。

《お願い》

●Ethernetインタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LANカード機能を停止させないと USB-LANドライバが正しくインストールされない場合があります。LANカード機能を停止させてから、WARPSTAR導入ウィザードの設定を行ってください。

●USBケーブルは、ユーティリティの指示があるまで接続しないでください。

WARPSTAR ベースのドライバをアンインストールする

WARPSTAR サテライトの古いドライバをアンインストールします。

1．らくらくアシスタントを起動する
2．［ドライバのアンインストール］をクリックする
3．画面の指示に従ってらくらくアシスタントを終了する
4．アンインストールするドライバを選択する
5．画面の指示に従ってアンインストールを行う

らくらくアシスタントをアンインストールする

古いらくらくアシスタントをアンインストールします。

1．［スタート］→［プログラム］→［ Aterm　WARPSTARユーティリティ］→［ユーティリティのアンインストール］の順に選択する
2．画面の指示に従ってアンインストールを行う

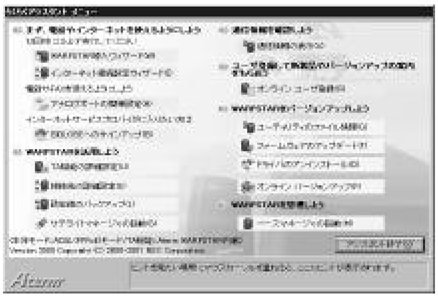
らくらくアシスタントをインストールする

らくらくアシスタントのインストール方法は、「2-3 WARPSTARサテライト（ WL11U ）/(WL11C ）にパソコンを接続する」を参照してください。らくらくアシスタントをインストールし、WARPSTAR導入ウィザードが起動したら、下記の「WARPSTAR導入ウィザードで設定する（ USBポート)」を行ってください。

WARPSTAR導入ウィザードで設定する（ USBポート ）

1．WARPSTAR導入ウィザードを起動する

初めてらくらくアシスタントをインストールしたとき以外は、らくらくアシスタントを起動し、メニュー画面で［WARPSTAR導入ウィザード］ボタンをクリックしてください。



2．［次へ］をクリックする



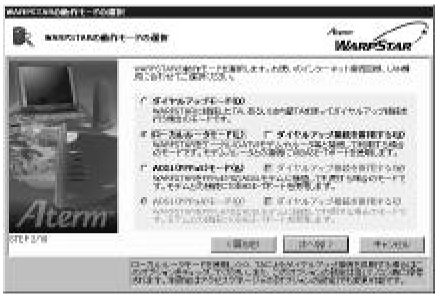
3．WARPSTARの動作モードを選択して、［次へ］をクリックする

ここでは［ローカルルータモード］を選び、ブロードバンドモデムに接続して利用する場合を説明します。

<WL20R、WB20Rの場合>



<WL50T、WB50T、WL30Aの場合>



［ダイヤルアップ接続を併用する］にチェックをするとCATV接続とダイヤルアップ接続を切り替えて使用できます。

> **《お知らせ》**
> ローカルルータモードに設定してもダイヤルアップの接続画面が表示される場合は、アクセスマネージャの設定の変更が必要です。(→P.36)

4．［ USBポート］をクリックし、［次へ］をクリックする



5．次の画面が表示されたら、［実行］をクリックする

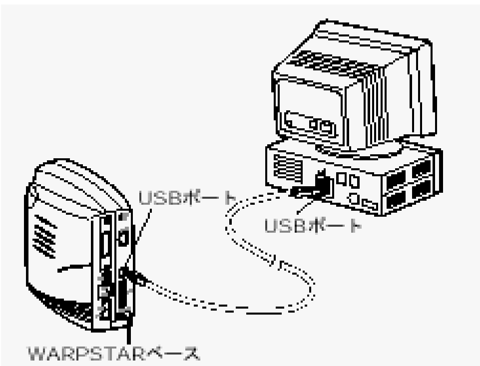


6．WARPSTARベースの電源が入っていることを確認する

7．次の画面が表示されたら、パソコンを添付のUSBケーブルでWARPSTARベースのUSBポートに接続する



コネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認してしっかり差し込んでください。ドライバが自動的にインストールされます。



8．［次へ］をクリックする

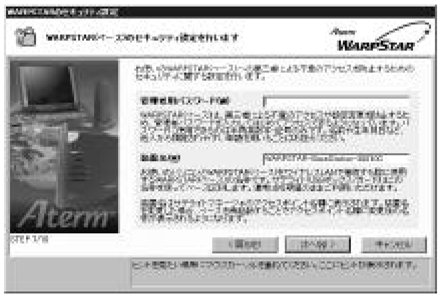


9．LANの設定を入力する

①［管理者用パスワード］にWARPSTARベースの設定を変更するためのパスワードを入力します。

②［装置名］には、WARPSTARベースの名称を入力します。

通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。



《お願い》

●管理者用パスワードは、あとで必要になります。忘れないようお願いします。

※WARPSTARベースに「管理者用パスワード」が登録済みの場合は、この画面はスキップされます。

10．［次へ］をクリックする

11．パソコンを起動したときにアクセスマネージャが自動起動するかどうかを設定する

[アクセスマネージャを Windows起動時に自動的に起動する]がチェックされていることを確認します。



12.［次へ］をクリックする



13. 設定内容を確認し［実行］をクリックする

設定内容を WARPSTARベースに登録します。

14.［設定終了］をクリックする



設定の登録が終了し、らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

初めてらくらくアシスタントをインストールしたときは、［接続設定］をクリックすると自動的にインターネット接続ウィザードが起動します。

P.30の手順６に進みます。

15. 続けてインターネット接続の設定を行う

らくらくアシスタントから WARPSTAR導入ウィザードを起動した場合は、P.30の手順３に進みます。

《お知らせ》

●管理者用パスワードは、WARPSTARベースをベースマネージャで設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード ________________________

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、ディップスイッチで WARPSTAR ベースを工場出荷状態に戻して設定を消去してください。

? LAN カード機能を停止させるには

Ethernetインタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LANカード機能を停止させないとUSB-LAN や WARPSTARサテライトが使用できない場合があります。以下の操作でLANカード機能を停止させてから、WARPSTAR導入ウィザードの設定を行ってください。

〈Windows® Me/98 の場合〉

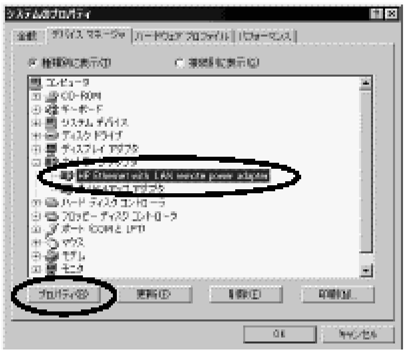
①［スタート］ボタン―［設定］―［コントロールパネル］をクリックする

②［システム］アイコンをダブルクリックする

③［デバイスマネージャ］タブをクリックする

④［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする

⑤不要なネットワークアダプタを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックする



⑥［全般］タブの［このハードウェアプロファイルで使用不可にする］をチェックして［ OK ］をクリックする

〈Windows® 2000 の場合〉

①［スタート］ボタン―［設定］―［コントロールパネル］をクリックする

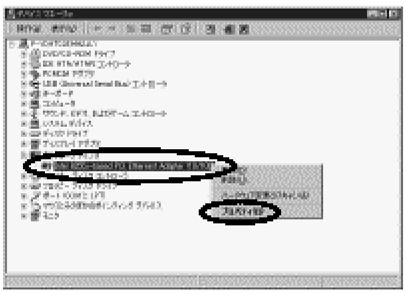
②［システム］アイコンをダブルクリックする

③［ハードウェア］タブをクリックする

④［デバイスマネージャ］をクリックする

⑤［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする

⑥不要なネットワークアダプタを選択して右クリックする



⑦［無効］を選択する

⑧［はい］をクリックする

? WARPSTAR ベースのドライバをアンインストールするには

①らくらくアシスタントを起動する

②［ドライバのアンインストール］をクリックする

③画面の指示に従ってらくらくアシスタントを終了する

④アンインストールするドライバを選択する

⑤画面の指示に従ってアンインストールを行う

【 2-5 インターネットの接続設定をする 】

インターネットへの接続の設定は、らくらくアシスタントの案内で簡単に行うことができます。
ここでは導入ウィザードでローカルルータモードを選択した場合を説明します。

インターネット接続を設定する

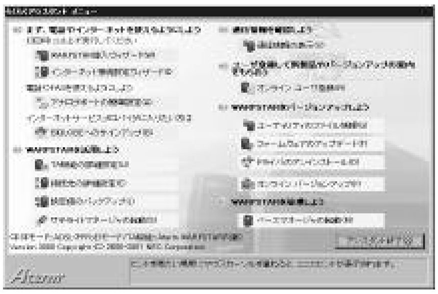
1. らくらくアシスタントを起動する

2.［次へ］をクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面が表示されます。



3.［インターネット接続設定ウィザード］をクリックする

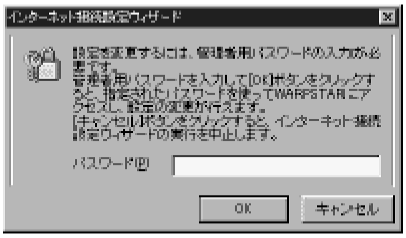


4. WL50T、WB50T、WL30Aの場合で、導入ウィザードで［ダイヤルアップ接続を併用する］をチェックした場合どちらの接続設定をするか選択し［ OK ］をクリックする

以降はCATV接続用の設定の場合を説明しています。ダイヤルアップ接続用の場合は WARPSTARに添付の取扱説明書を参照してください。



5. WARPSTAR導入ウィザードで設定した管理者用パスワードを入力します



6.［次へ］をクリックする



7．ブロードバンドインターネット接続に必要な基本設定をする

ご加入のブロードバンド接続事業者の案内にしたがって入力してください。



・DHCP クライアント機能

WARPSTAR のWAN側をブロードバンド通信網のDHCPクライアントとして利用する場合は［ WAN側をDHCPクライアントとして扱う］をチェックします。

WARPSTAR のWAN側に特定のIPアドレスを指定する場合はチェックをはずしてください。

IPアドレス/ネットマスク/DNS WARPSTARベースのWAN側のIPアドレス、ネットマスクを設定します。WAN側をDHCP クライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

・ゲートウェイアドレス

WARPSTARベースのWAN側のゲートウェイアドレスを設定します。特に指定の必要がない場合は空欄のままでかまいません。

プライマリ DNS／セカンダリDNS WARPSTARベースのWAN側のDNSサーバを設定します。

接続網のサーバから自動取得する場合は空欄のままでかまいません。また、サーバから自動取得された値は入力された値よりも優先して使用されます。

ドメイン名／ホスト名 WARPSTARベースのWAN側のドメイン名、ホスト名を設定します。プロバイダから指定がない場合は空欄のままでかまいません。

8．Outlook Express を使用する場合は、［ Outlook Expressにアカウントを登録する ］をクリックし、［次へ］をクリックする



Outlook Express の設定をここでしない場合は、［ Outlook Express にアカウントを登録しない ］をクリックし、手順10に進みます。

> **《お願い》**
> ●Outlook Express については、Outlook Express の取扱説明書を参照してください。

9．メールアカウントとニュースアカウントの情報を入力し、［次へ］をクリックする

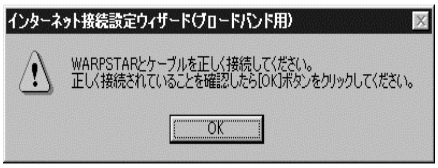


10．設定内容を確認し、［実行］をクリックする

WARPSTARベースの設定が自動的に行われ、WARPSTARベースが再起動されます。



11．下の画面が表示されたら、WARPSTARベースとブロードバンドモデムを10BASE-Tケーブルで接続する



■ブロードバンドモデムに接続する

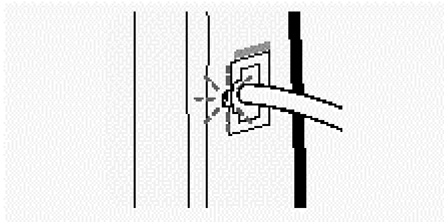
①ブロードバンドモデムが、ブロードバンド通信網に正しく接続されていることを確認する。

②WARPSTAR ベースの電源が入っていることを確認する。

③WARPSTAR ベースの10BASE-Tポートとブロードバンドモデムを10BASE-Tケーブル（ストレート）で接続する。



④10BASE-Tポート状態表示LEDが点灯していることを確認します。



（点灯しない場合は P.34を参照してください）

12．接続が正しく行われたことを確認して［ OK ］をクリックする

13．WAN側IPアドレスの欄にIPアドレスが表示されていることを確認し、［設定終了］をクリックする

らくらくアシスタントから導入ウィザードを起動した場合は、らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。



WAN側 IPアドレスの欄が空欄または、「0.0.0.0」の場合は、次ページを参照してください。

？ WAN 側IP アドレスが正しく表示されていない場合

手順13でWAN側IPアドレスの欄が空欄または「0.0.0.0」の場合は ブロードバンド通信網との接続が正しく行なわれていない可能性があります。
次の点を確認してください。

- **WARPSTARベースとブロードバンドモデムが10BASE-Tケーブルで正しく接続されているか。**
- **モデムの電源が入っているか確認できたら、いったんインターネット接続設定ウィザードを終了し、アクセスマネージャの［状態］表示で［ブロードバンド］タブを表示させ、［詳細表示］のIPアドレスを確認してください。**
  IPアドレスが表示されていない場合は［IP再取得］ボタンを選択し、IPアドレスが正しく表示されることを確認してください。
- **WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。IP アドレスを正しく設定してください。**

？ 10BASE–Tポート状態表示LEDが点灯しないときは

手順11の④で10BASE–Tポート状態表示LEDが点灯しないときは、WARPSTARベースとブロードバンドモデムが正しく接続できていません。次の手順で誤りがないかどうか確認してください。

①10BASE-Tケーブルの接続を確認する
いったん電源を切り、WARPSTARベースの10BASE-Tポートがブロードバンドモデムに10BASE-Tケーブル（ストレート）で正しく接続されているか確認してください。
②カスケード切り替えスイッチを切り替える
電源を切り、WARPSTARベースのカスケード切り替えスイッチを切り替えます。
再度電源を入れてください。
これで問題が解決しない場合は、カスケード切り替えスイッチを戻しておきます。
③ブロードバンドモデムが回線と正しく接続されていることを確認する
10BASE-Tポートを搭載したパソコンをお持ちの場合は、ブロードバンドモデムに直接パソコンを接続して正しく動作することを確認してください。直接パソコンを接続しても正しく動作しない場合は、ブロードバンドモデムおよび通話回線に問題があります。
ご契約の通信事業者にご相談ください。
④①～③を行っても解決しない場合は、WARPSTARベースを初期化する WARPSTARベースの設定を購入時の状態に戻します。初期化する方法については、添付の取扱説明書を参照してください。
⑤WARPSTARベースの自己診断を行う
添付の取扱説明書を参照して、WARPSTARベースの自己診断を行ってください。
①～⑤を行っても問題が解決しないときは、WARPSTARベースが故障している場合があります。
最寄りのNEC保守サービス受付拠点へお問い合わせください。

？ WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合

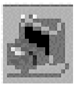
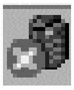
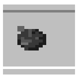
WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。
まずはアクセスマネージャのメニュー［状態］で［ブロードバンド］タブを表示させ、［詳細］表示のIPアドレスをご確認ください。
IPアドレスが表示されていない場合は、［IP再取得］ボタンを選択し、IPアドレスが正しく表示されていることをご確認ください。

【 2-6 インターネットに接続する 】

アクセスマネージャで接続状態を確認する

インターネットへの接続／切断の操作や回線状態の表示はタスクトレイの「アクセスマネージャ」で行います。

●タスクトレイの「アクセスマネージャ」のアイコン表示

	**WAPSTAR ベースとの通信が可能でインターネット接続されていない状態**
	**ローカルルータモードでインターネットと接続中**
	**WAPSTAR ベースとの通信ができない状態**
	**ダイヤルアップでインターネットと接続中**

●アクセスマネージャの使い方

①タスクトレイのアクセスマネージャアイコンを右クリックする。

②ポップアップメニューから、行いたい操作を選択する

・状態（接続状態を確認できます）

・ブロードバンド接続（手動でブロードバンドインターネットへの接続を行います）

・切断（手動で切断を行います）

・オプションの設定（オプションの設定画面を表示します）

・ログの表示（WARPSTAR のログを表示します）

・らくらくアシスタント（らくらくアシスタントを起動します）

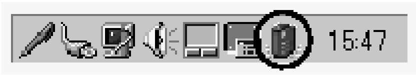
・Windows 起動時に自動起動する（アクセスマネージャを Windows 起動時に自動起動するよう登録または解除します）

・ヘルプ（ヘルプを起動します）

・終了（アクセスマネージャを終了します）

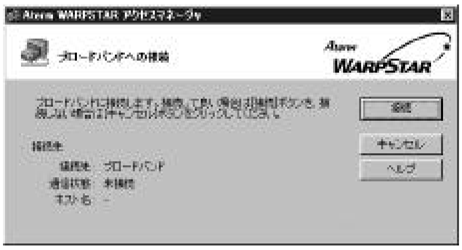
CATVでインターネットに接続する

1．タスクトレイのアクセスマネージャアイコンを右クリックする



2．メニューから［ブロードバンド接続］をクリックする

3．［接続］をクリックする



インターネット接続が開始されます。



4．WWWブラウザや電子メールソフトなどのアプリケーションを起動する

接続中は、インターネットアプリケーションを利用することができます。

WARPSTAR には、インターネットアプリケーションは添付していません。

Windows に付属のものをご利用になるか、別途ご用意ください。

5．終了するときは、タスクトレイのアクセスマネージャアイコンを右クリックする

6．［切断］をクリックする

《お知らせ》

●WL50T、WB50T、WL30Aの場合、WARPSTAR導入ウィザードでローカルルータモードに設定してもダイヤルアップの接続画面が表示される場合があります。その場合は次の手順で設定を変更してください。

①アクセスマネージャのアイコンを右クリックして［オプションの設定］を選択します。

②［接続先の選択］タブの［通常使用する接続先の選択］欄で［ブロードバンド/ADSL(PPPoE)接続］を選択します。

《お知らせ》

●Windows® Me / 98 / 2000 でご利用の場合には、WWWブラウザ（Internet Explorer等）やメールソフトの設定がLAN 接続の設定になっている必要があります。

ブラウザやメールソフトを起動したときに、アクセスマネージャの「プロバイダへの接続」が起動せずにダイヤルアップ接続が起動してしまう場合には、ダイヤルアップ接続する設定になっていますので設定を変更してください。

設定の変更方法についての詳細は各ソフトウェアの製造メーカー（ Microsoft 等）にご確認ください。

以下は InternetExplorer 5 の場合の設定方法の一例です。

お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェア等）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

①InternetExplorer のアイコンをダブルクリックして、InternetExplorer を起動します。

②「ツール」の「インターネットオプション」を選択します。

③「接続」タブをクリックします。

④ダイヤルアップの設定の欄で、「ダイヤルしない」を接続してください。



また、プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプレインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）はダイヤルアップ接続（モデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。

その場合WARPSTAR にLAN接続されたパソコンからは実行できません。

プログラムの使用方法等、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカにご確認ください。

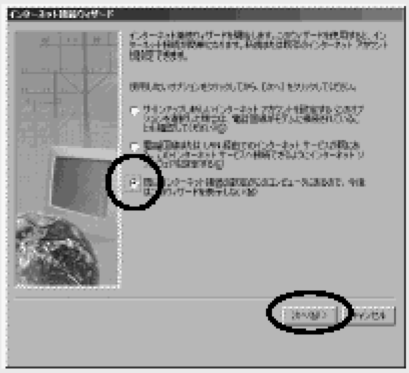
《お知らせ》

●Windows® 98 をご使用の場合でデスクトップにWWWブラウザソフト（Internet Explorer ）アイコンがないときは、以下の手順で［Internet Explorer］アイコンを作成します。

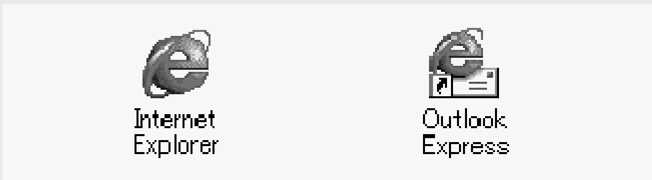
①デスクトップの「インターネットに接続」アイコンをダブルクリックします。
「インターネット接続ウィザード」画面になります。



②「既にインターネット接続の設定が・・・表示しない」を選択し、[次へ］ボタンをクリックします。

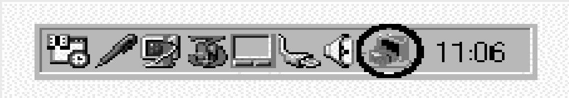


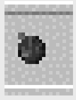
③［インターネット接続ウィザード］を終了します。
デスクトップに［Internet Explorer ］と［Outlook Express ］のアイコンが表示されます。



《お知らせ》

●タスクトレイのアクセスマネージャのアイコンが下記の状態の間は、接続したままの状態が続いています。(WWWブラウザなどのアプリケーションを終了しても自動的に切断されません）セキュリティの向上のためインターネットを使用していないときはアイコンを右クリックして［切断］をクリックして忘れずに切断してください。





●接続先のプロバイダやサーバ、接続時間帯、データ転送の特徴などにより、接続回線速度のパフォーマンスが十分得られないことがあります。

● USBポートにパソコンを接続して通信アプリケーションを実行中に、USBケーブルを抜いたり電源を切ったりすると、通信アプリケーションと USBドライバとの結合をシステムが解放します。引き続き通信アプリケーションをご利用になる場合は、通信アプリケーションをいったん終了して、正しく接続しなおしてから再度実行してください。

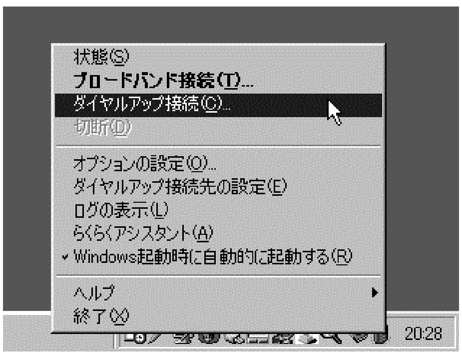
ブロードバンド接続とダイヤルアップ接続を切り替えてインターネットする

WL50T、WB50T、WL30A ではアクセスマネージャを使って、１台のパソコンでダイヤルアップ接続とブロードバンド接続を切り替えて接続すること（マルチライン）ができます。(複数台のパソコンからブロードバンド接続、ダイヤルアップ接続を同時に利用することもできます）

1.［スタート］→［プログラム］→［ Aterm WARPSTAR ユーティリティ］→［ Aterm WARPSTAR アクセスマネージャ］を選択し、アクセスマネージャを起動する

2．アクセスマネージャのアイコンを右クリックして接続方法を選択する

ここではダイヤルアップ接続を選択しています。

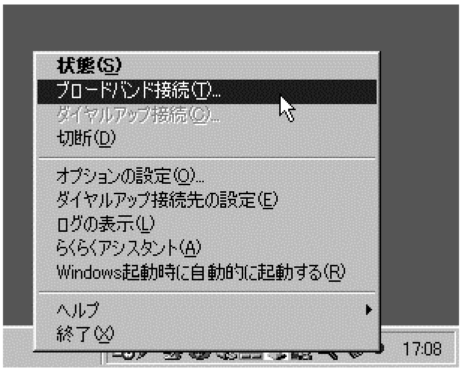


3.［接続］をクリックする

4.接続中のアクセスマネージャを右クリックして接続方法を選択する

1台のパソコンでブロードバンドへの接続中または、ダイヤルアップ接続中にもういっぽうを選択すると、現在の接続を切断して、あらたに接続することができます。別のパソコンから接続するときは切断せずに接続を追加できます。

ここではダイヤルアップ接続中にブロードバンド接続を選択します。



5.［接続］をクリックする

ダイヤルアップ接続からブロードバンド接続に切り替わります。

《お知らせ》

●WL20R、WB20R、ブロードバンド接続とダイヤルアップ接続を切り替えてインターネットことはできません。

●ダイヤルアップ接続の接続先をあらたに追加する場合は、らくらくアシスタントの［インターネット接続設定ウィザード］で設定するか［接続先の詳細設定］で 設定します。

3　ＡＤＳＬでインターネット接続しよう

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。

Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。

【 3-1 ADSL に接続する前に 】

WARPSTAR のバージョンを確認しましょう

①ファームウェアは次のバージョン以降になっていますか。

ファームウェア：Ver.3.00 以降

■ファームウェアバージョンの確認のしかた

・［スタート］→［プログラム］→［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］→［Aterm WARPSTAR らくらくアシスタント］を選択し、らくらくアシスタントを起動します。

・［ファームウェアのアップデート］ボタンをクリックします。

・［WARPSTAR 本体］をチェックして［ＯＫ］をクリックします。

・［次へ］をクリックします。

・［AtermWL の情報］欄のファーム（本体）のバージョンを確認します。

［キャンセル］をクリックします。

ファームウェアのバージョンが Ver.3.00 以降でない場合は、バージョンアップを行う必要があります。ホームページ AtermStation に記載されている手順に従うか、WARPSTAR に添付されている CD-ROM に収録されている「データ通信ガイド」を参照して、バージョンアップを行ってください。

②ユーティリティは次のバージョン以降のものが用意されていますか。

ユーティリティ：Ver.3.00 以降

■ユーティリティバージョンの確認のしかた

・ホームページ AtermStation からダウンロードしてきたファイル名の最後の３桁がユーティリティのバージョンです。バージョンが Ver.3.00 以降でない場合は、ホームページ AtermStation からお使いの機種にあわせてユーティリティをダウンロードしてください。

《お願い》

ファームウェアのバージョンアップを行なう前に新しいバージョンのユーティリティをインストールすると、導入ウィザードが途中で止まってしまう場合があります。
必ず、ファームウェアのバージョンアップを先に行なってください。

ADSL(PPPoE)に接続する準備

ここではまだ、WARPSTAR ベースと ADSL モデムを接続しないでください。実際の接続は、らくらくアシスタントのインターネット接続設定のウイザードの設定が終わってから行います。(→P.68)

WARPSTAR ベースをADSL に接続する前に次のことを確認しましょう

・**ADSL 接続事業者およびプロバイダ会社とのインターネット接続契約はお済みですか？**
WARPSTAR をお使いになる前に、ADSL 接続事業者およびプロバイダ会社との契約を済ませておいてください。また、事前に通信回線が開通していることをご確認ください。

・**WARPSTAR の接続および設定には、下記のものが必要です。**
① ADSLモデム
② IPアドレスなどの設定情報
③接続ケーブル
WARPSTAR ベースと ADSL モデムを接続するための 10BASE-T ケーブル（ストレート）は添付されていません。お客様でご用意ください。

・**カスケード切り替えスイッチを切り替えてください。**
WARPSTARベースの電源を切り、カスケード切り替えスイッチをHUB側にします。再度電源を入れてください。

・ルータタイプの ADSLモデムに接続する場合は、「2 CATVでインターネットしよう」の手順にしたがって接続してください。

《お願い》
・お住まいの地域によってはADSL 接続が利用できない可能性があります。利用の可否は、各プロバイダもしくはADSL 接続事業者にお問い合わせください。
・ ISDN 回線ではご利用になれません。アナログ回線への契約変更が必要です。また、併用できない回線付加サービスがあります。また、回線の契約変更時に電話番号が変更になる場合があります。詳細はＮＴＴ東日本、ＮＴＴ西日本にお問い合わせください。
・ 開通工事に別途追加工事及び費用が必要になる場合があります。各プロバイダもしくはADSL 接続事業者にお問い合わせください。
・ フレッツ ADSL 接続後、電源の ON/OFF などで異常終了したときに、WARPSTAR の再起動後一定時間（最大で 30 分程度）接続ではない場合があります。この場合は、一定時間（最大で 30 分程度）時間がたってから接続してください。

【 3-2 パソコンと接続するポートを確認する 】

お使いのパソコンに搭載されているポートの種類ごとに、接続のしかたを確認しましょう。
ここでは確認するだけで、パソコンと WARPSTAR は接続しないでください。

※ポートの種類についてよくわからない方は、お使いのパソコンのポートと図をよく見比べて接続するポートを確認してください。

●接続ポートを確認する前に（ WARPSTAR が対応している OS ）

お使いのパソコンが WARPSTAR をご利用になれる環境になっているか確認してください。
WARPSTAR は以下の OS でのみご利用になれます。

・Windows® Me
・Windows® 98
・Windows® 2000

WARPSTAR 対応の OS をご利用の場合でも、お使いのパソコンの環境によっては、必要なネットワークコンポーネント（ TCP/IP ）がインストールされていない場合があります。必要なネットワークコンポーネントがインストールされているかどうかを確認し、インストールされていない場合は、添付の CD-ROM に収録されている「データ通信詳細ガイド」「 1-2 ファイルとプリンタの共有」を参照してインストールしてください。

《お願い》

● Windows® Me / 98 をご利用の場合、同じパソコンに複数のサテライトや USBポートを接続して同時に使用することはできません。
● ADSL接続（ADSL［PPPoE］モード）の場合、10BASE-Tポートは LANポートとして、パソコンと接続できません。

WARPSTAR ベースを接続する前に

WARPSTARベースを接続する前に次のことを確認しましょう。

1．ADSL モデムと回線は正しく接続されていますか？
接続の方法や確認は、ADSLモデムの取扱説明書を参照してください。

2．ADSL 接続事業者およびプロバイダ会社とのインターネット接続契約はお済みですか？

・WARPSTARをお使いになる前に、ADSL接続事業者およびプロバイダ会社との契約を済ませておいてください。また、事前に通信回線が開通していることをご確認ください。

・WARPSTARの接続および設定には、下記のものが必要です。

① ADSLモデム（10BASE-Tポートのインターフェースのモデム）

※ USBインターフェースの場合は接続できません。

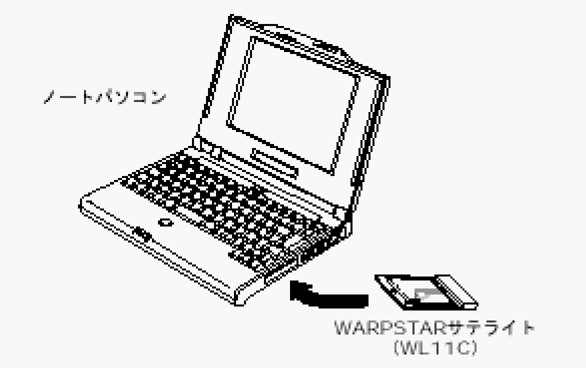
② IPアドレスなどの設定情報

③ ADSL（PPPoE）接続のための接続事業者からのユーザ ID、プロバイダからのパスワードなどの接続情報

・ルータタイプの ADSL モデムの場合は、「2 CATV でインターネット接続しよう」の手順で「ローカルルータモード」で接続してください。

既に WARPSTAR とパソコンを接続している場合は「3-3 WARPSTAR サテライト（WL11U）/（WL11C）にパソコンを接続する」または「3-4 WARPSTAR ベースの USB ポートにパソコンを接続する」に進んでください。

ＰＣカードタイプ　WARPSTARサテライトを使用する



PC カードスロットがあるパソコンには、WARPSTAR サテライト（ WL11C ）を取り付けることができます。ここではまだ接続しないでください。以下の順で設定を行ってください。

「 3-3 WARPSTARサテライト（ WL11U ）/（ WL11C ）にパソコンを接続する 」

↓

「 3-5 インターネットの接続設定をする 」

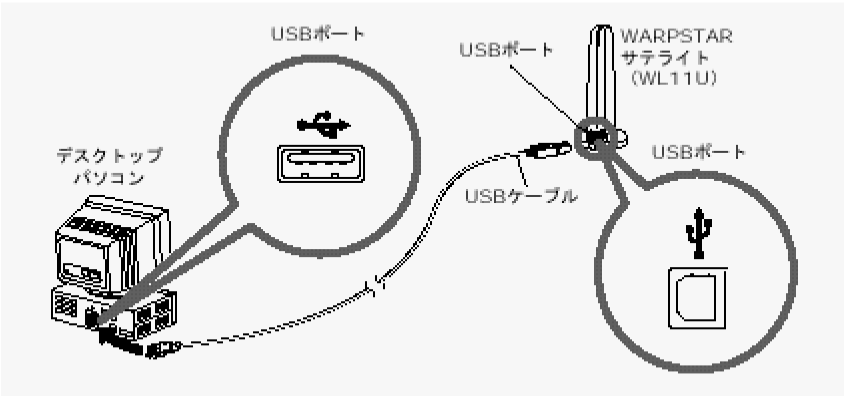
《お願い》

● WARPSTARサテライト（ WL11C ）をパソコンに取り付けるためには、32ビットPCカードドライバが正常にインストールされている必要があります。

● WARPSTARサテライト（ WL11C ）はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等により給電が停止した場合、通信を行う前にカードを挿し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。

● WB50T、WB20R の場合は拡張カードスロットに WL11C（別売）を装着して、ワイヤレス LAN 対応に拡張する必要があります。

ＵＳＢタイプ WARPSTARサテライトを使用する



USBポートがあるパソコンには、WARPSTARサテライト（ WL11U ）を取りつけることができます。
以下の順で設定を行ってください。
WARPSTARサテライト（ WL11U ）に接続する場合
「 3-3 WARPSTARサテライト（ WL11U ）/（ WL11C ）にパソコンを接続する 」

《お願い》

● WL11U はパソコンからの給電のみで動作します。使用する USBポートの給電能力が500mAを保証しているパソコンまたは USBハブをご使用ください。

● WB50T、WB20Rの場合は拡張カードスロットに WL11C （別売）を装着してワイヤレスLAN対応に拡張する必要があります。

●スタンバイやサスペンド機能は使用しないでください。
WL11U を接続したままパソコンをスタンバイ／サスペンド状態にすると、お使いのパソコン環境によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。このような場合は、パソコンのスタンバイやサスペンド機能を無効にしてご使用ください。

● WARPSTARサテライト（ 子機 ）を複数接続しないでください。
WARPSTARサテライト（ WL11U ）/（ WL11C ）を同じパソコンに複数同時に接続することはできません。また、他のネットワークデバイス（ USB-LAN ポート、10BASE-Tポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、必ず使用するネットワークデバイスは1つのみにしてください。

●デバイスマネージャの［電源の管理］タブの設定は変更しないでください。
Windows のデバイスマネージャで WL11U のプロパティを開くと、［電源の管理］タブが表示されることがありますが、［電源の管理］タブ内の設定は初期状態から変更しないでください。変更するとパソコンの動作が不安定になる場合があります。もし、誤って変更してしまった場合は再度［電源の管理］タブを表示して、初期状態に戻すか、ドライバアンインストーラを起動して WL11Uドライバをアンインストールし、WARPSTAR導入ウィザードから再インストールを行ってください。

［電源の管理］タブの初期状態

■ Windows® 98

節電のためにコンピュータの電源を自動的に切る ……………………………有効

コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う ……………………無効

■ Windows® Me

節電のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする ……有効

コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う ……………………無効

■ Windows® 2000

電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする‥有効

このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができる ……………無効

●サテライトマネージャやアクセスマネージャ起動中に USBケーブルを抜き挿しするとパソコン動作が不安定になる場合があります。サテライトマネージャやアクセスマネージャ起動中は、USBケーブルの抜き挿しをしないでください。お使いのパソコン環境によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。ケーブルの抜き挿しを行う場合は、サテライトマネージャやアクセスマネージャをパソコンのタスクトレイから終了した後に行うかパソコンの電源を切ってから行ってください。

●WL11U では装置ごとにハードウェアウィザードが起動します。

WL11U は、装置ごとに固有のシリアル番号を保持しているため、Windows はそれぞれを別個のデバイスとして検出します。例えば、2台以上の WL11U をお持ちの場合、1台目の WL11U を使って正しくデバイスドライバをインストールしたパソコンに別の2台目の WL11U を接続すると、新たにWindows のハードウェアウィザードが起動し、別のデバイスドライバのインストールをはじめます。ハードウェアウィザード画面の指示に従ってインストール操作を進めることで2台目の WL11U もネットワークデバイスとしてインストールすることもできます。ただし、ネットワークデバイスのプロパティ情報（TCP/IPプロトコルの設定等）を変更しているお客様は、プロパティ情報を再設定する必要がありますのでご注意ください。

複数の WL11U をお持ちの場合は、パソコンごとに使用する WL11U を決めてお使いいただくことをお勧めします。

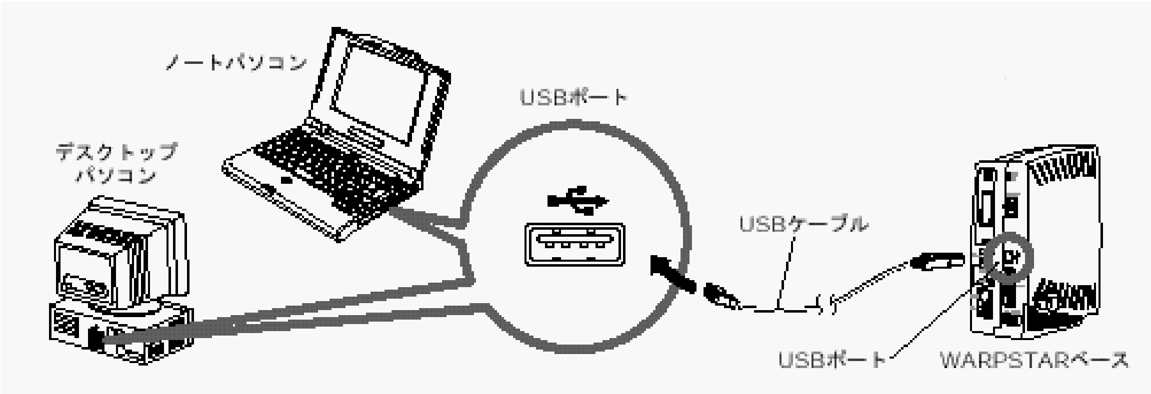
※正常に動作しない場合の対策

1台のパソコンに多数の WL11U を組み込んだり、2台目以降の WL11U インストール時にハードウェアウィザードの操作を誤ると、正常に動作しない場合があります。

その場合は、らくらくアシスタントの「ドライバのアンインストール」を起動して、いったん WL11Uドライバをアンインストールしてから、もう一度らくらくアシスタントの「WARPSTAR導入ウィザード」を起動して WL11U のインストールを行ってください。

（アンインストーラでは、複数の WL11U の設定を全て削除します）

WARPSTARベースの USBポートを使用する



お使いのパソコンに USBポートがある場合は、WARPSTARベースの USBポートに、添付品の USBケーブルで接続することができます。ここではまだ接続しないでください。以下の手順で設定を行ってください。

WARPSTARベースに接続する場合
「 3-4 WARPSTARベースの USBポートにパソコンを接続する 」
↓
「 3-5 インターネットの接続設定をする 」

《お願い》
● USB接続でご使用いただく場合、ご使用になるパソコンによっては、スタンバイやサスペンド機能が使用できない場合があります。
あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。

【3-3 WARPSTARサテライト(WL11U)/(WL11C)にﾊﾟｿｺﾝを接続する】

WARPSTARサテライト（WL11U）/（WL11C）にパソコンを接続するときは、①ドライバのインストール→②パソコンの接続→③ LANの設定の順で設定を行っていきます。
これらは、すべてらくらくアシスタントの［WARPSTAR導入ウィザード］で行います。
まず最初に、お使いのパソコンにらくらくアシスタントをインストールしてください。

> 《お願い》
> - Ethernetインタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LANカード機能を停止させないとWARPSTARサテライトのドライバが正しくインストールできない場合があります。LANカード機能を停止させてから、WARPSTAR導入ウィザードの設定を行ってください。
> - WARPSTARサテライトを増設するときは、それぞれに P.50～P.59の設定を行ってください。
> - ユーティリティの指示があるまで WL11U 、WL11Cをパソコンに接続しないでください。WB50T、WB20Rで WARPSTARサテライトによるワイヤレス LAN機能をご利用になるには、別売の WL11Cを拡張カードスロットに取りつけ、別途 WARPSTARサテライトをご購入いただく必要があります。

WARPSTAR ベースのドライバをアンインストールする

WARPSTAR サテライトの古いドライバをアンインストールします。

1．らくらくアシスタントを起動する。
2．［ドライバのアンインストール］をクリックする。
3．画面の指示に従ってらくらくアシスタントを終了する
4．アンインストールするドライバを選択する
5．画面の指示に従ってアンインストールを行う

らくらくアシスタントをアンインストールする

古いらくらくアシスタントをアンインストールします。

1．［スタート］→［プログラム］→［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］→［ユーティリティのアンインストール］の順に選択する

らくらくアシスタントをインストールする

1．ホームページ AtermStationからダウンロードしてきたファイルをダブルクリックする

2．［次へ］をクリックする



3．［次へ］をクリックする



4．画面の同意書を読み、同意できる場合は［次へ］をクリックする



5．セットアップ方法を選択して、［次へ］をクリックする

［標準］を選択すると、インターネットや LANへの接続に必要なユーティリティがインストールされます。

［完全］を選択すると、［標準］に加えて LAN機能の詳細を設定するユーティリティであるベースマネージャもインストールされます。



6．表示されたインストール先へインストールする場合は、［次へ］をクリックする

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。



7．［はい］をクリックする。

8．［ READMEの表示 ］にチェック が入っていることを確認し、［完了］をクリックする



9．README をよく読んで、［ README ］画面を閉じる

インストールが完了し、WARPSTAR導入ウィザードが起動します。



10．続けて WARPSTAR 導入ウィザードでLANの設定を行う



？ らくらくアシスタントを起動するには

らくらくアシスタントを終了させた後に、再度らくらくアシスタントを起動するときは、［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］—［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］—［Aterm WARPSTAR らくらくアシスタント］をクリックします。

《お知らせ》

● WARPSTARらくらくアシスタントをインストールすると、インターネット接続や WARPSTAR の設定に必要な以下のユーティリティが自動的にインストールされます。

・WARPSTARらくらくアシスタント

・WARPSTARアクセスマネージャ

・WARPSTARサテライトマネージャ（サテライトをインストールした場合のみ）

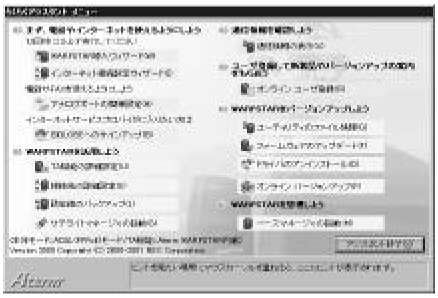
・WARPSTARベースマネージャ（セットアップの方法で［完全］を選択してインストールした場合のみ）

※ WARPSTARベースマネージャは、あとからインストールすることもできます。

WARPSTAR導入ウィザードで設定する（サテライト)

1．WARPSTAR導入ウィザードを起動する

初めてらくらくアシスタントをインストールしたとき以外は、らくらくアシスタントを起動し、メニュー画面で［WARPSTAR導入ウィザード］ボタンをクリックしてください。



2．［次へ］をクリックする



3．WARPSTARの動作モードを選択して、［次へ］をクリックする

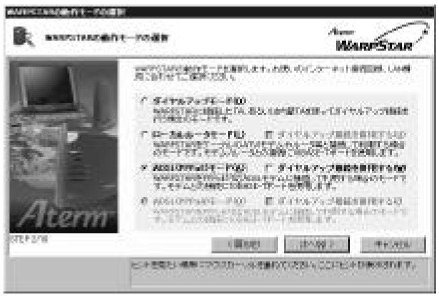
ADSL（PPPoE）接続で ADSLモデムと接続する場合は、「ADSL（PPPoE）モード］をルータタイプの ADSLモデムと接続する場合は、「ローカルルータモード」を選択します。

ここでは、［ADSL（PPPoE）モード］を選択し、ADSLモデムを接続して利用する場合を説明します。

<WL20R、WB20Rの場合>



<WL50T、WB50T、WL30Aの場合>



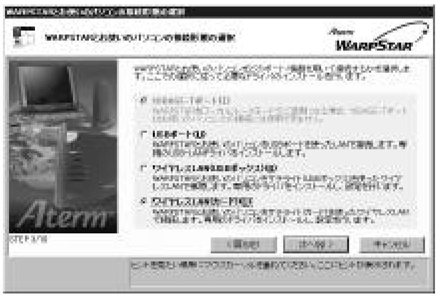
［ダイヤルアップ接続を併用する］にチェックをすると、ADSL接続とダイヤルアップ接続を切り替えて使用できます。

> **《お知らせ》**
> ADSL(PPPoE)モードに設定してもダイヤルアップの接続画面が表示される場合は、アクセスマネージャの設定の変更が必要です。(→P.71)

4．［ワイヤレス LAN（ USBボックス)］または［ワイヤレス LAN（カード)］のどちらかをチェックして、［次へ］をクリックする

WL11U をご利用の場合は［ワイヤレスLAN（USBボックス)］、WL11Cをご利用の場合は［ワイヤレスLAN（カード)］

をクリックしてください。



5．［実行］をクリックする



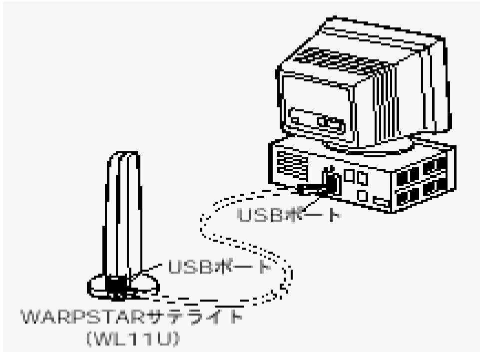
6．次の画面が表示されたら、WARPSTAR サテライトをパソコンに接続（ WL11U ）、または取り付け（ WL11C ）する

●画面は WL11C の場合です



●WL11U を接続する

WL11U の USBポートとパソコンの USBポートを添付の USBケーブルで接続するコネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認してしっかり差し込んでください。



●WL11C を取り付ける

パソコンのカードスロットに WL11Cを取り付けます。コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。

ドライバが自動的にインストールされます。

ドライバをアンインストールしたいときは P.58を参照してください。



7．［次へ］をクリックする



8．WARPSTAR ベースの電源をいったん切ったあと、再び電源を入れる。しばらくして、（ Power ランプ､Ready ランプ、Data ランプが交互に点灯したあと） Power ランプが緑色に点灯します。

9．WARPSTARベースの電源を入れたあと［実行］をクリックする



WARPSTAR ベースを検索します。
（ネットワークの参照といいます）

10．接続する WARPSTARベースのネットワーク名を選択して［ OK ］をクリックする



> 《お知らせ》
> ●工場出荷時のネットワーク名は、
> 「WARPSTAR- ××××××」
> （××××××は WARPSTARベースの背面に記載されている10BASE-TのMACアドレス下6桁です。）

> 《お願い》
> ●WAPRSTARベースの電源を入れたあと、30分以内に手順9を行ってください。
> 「ネットワークが見つかりません。」
> と表示された場合は［ OK ］をクリックして［ネットワーク名］の欄に直接ネットワーク名を入力してください。

11．［ OK ］をクリックする

［通信モード］は［アクセスポイント通信］の設定のままにしてください。
サテライトマネージャの設定が終了します。



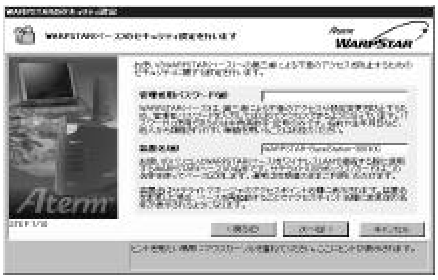
12．［次へ］をクリックする



13．LAN の設定を入力する

①［管理者用パスワード］にWARPSTARベースの設定を変更するためのパスワードを入力します。
パスワードには任意の英数字半角20文字まで入力できます。

②［装置名］には、WARPSTAR ベースの名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。



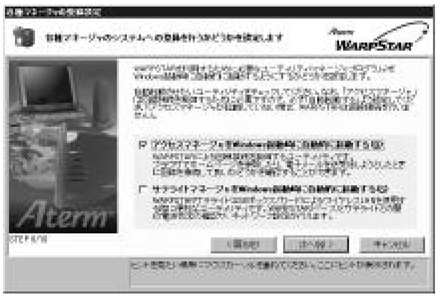
14．［次へ］をクリックする

※ WARPSTARベースに「管理者用パスワード」が登録済みの場合は、この画面はスキップされます。

15．パソコンを起動したときに自動起動するユーティリティを設定する

［アクセスマネージャを Windows起動時に自動的に起動する］がチェックされていることを確認します。

サテライトマネージャを自動的に起動するときは、［サテライトマネージャをWindows起動時に自動的に起動する］をチェックします。



16．［次へ］をクリックする

17．設定内容を確認し、［実行］をクリックする

設定内容をWARPSTARベースに登録します。



18．［設定終了］をクリックする



設定の登録が終了し、らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

初めてらくらくアシスタントをインストールしたときは［接続設定］をクリックすると、自動的にインターネット接続ウィザードが起動します。

P.66の手順５に進みます。

19．続けてインターネット接続の設定を行なう

らくらくアシスタントから WARPSTAR導入ウィザードを起動した場合は、P.66の手順３に進みます。

《お知らせ》

●初めてらくらくアシスタントをインストールしたとき以外で WARPSTAR導入ウィザードを起動するときは、らくらくアシスタントを起動し、メニュー画面で［ WARPSTAR導入ウィザード］ボタンをクリックしてください。

●管理者用パスワードは、WARPSTARベースをベースマネージャで設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、ディップスイッチで WARPSTARベースを工場出荷状態に戻して設定を消去してください。

●WL11C の取り扱いについて

〈取り付けるとき〉

・WL11C のコネクタ部分に手を触れないようにしてください。

・コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

〈取り外すとき〉

・WL11C を取り外すときは、以下の操作でPCカードを取り外せる状態にしてから取り外してください。

①タスクトレイのPC カードアイコンを左クリックする

②[Aterm WL11C （ PC-WL/11C ）の停止］をクリックする（Windows® 98 の場合は［Aterm WL11C （ PC-WL/11C ）の中止］をクリックする）

③「Aterm WL11C （ PC-WL/11C ）は安全に取り外すことができます。」が表示されたら、［ OK ］をクリックする

④WL11C を取り外す

《お願い》

● WL11C の取り付け位置はパソコンにより異なりますので、必ずパソコンの取扱説明書を参照し、各メーカーの定める手順にしたがって取り付けてください。

●らくらくアシスタントが起動しないなどの理由で、手動で WARPSTAR をセットアップする場合は、それぞれに添付のCD-ROM に収録されている「データ通信詳細ガイド」「4 ドライバの手動インストール」を参照してください。

？ こんなときは

次の画面が表示された場合は、①～⑥を確認して［再試行］をクリックしてください。
パソコンのタスクトレイに「アクセスマネージャ」のアイコンが表示されている場合は、①～⑥の操作の前に、「アクセスマネージャ」のアイコンを右クリックし、［終了］をクリックして「アクセスマネージャ」を終了させてから行ってください。



〈Windows® Me/98 の場合〉

①［スタート］－［ファイル名を指定して実行（R)］をクリックする
②“ winipcfg ”を入力して［ OK ］をクリックする
③ Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウの ▼ をクリックして“ WL11U （ PC-WL/11U ）”を選択する
④［すべて書き換え（W)］をクリックする
⑤ IPアドレスが“192.168.0.×××”になることを確認する
⑥［ OK ］をクリックする
※手順③は WARPSTAR サテライト（ WL11U ）の場合です。
WARPSTARサテライト（ WL11C ）のときは“ WL11C （ PC-WL/11C ）”を選択してください。

？ WARPSTAR サテライトのドライバをアンインストールするには

①らくらくアシスタントを起動する
②［ドライバのアンインストール］をクリックする
③画面の指示に従ってらくらくアシスタントを終了する
④アンインストールするドライバを選択する
⑤画面の指示に従ってアンインストールを行う

WARPSTARベースとの通信状態を確認する(サテライトマネージャ)

サテライトマネージャを起動すると、WARPSTARベースと　WARPSTARサテライトの通信状態を確認することができます。

1．タスクトレイのサテライトマネージャのアイコンを右クリックする



2．［状態］をクリックする

WARPSTARベースと　WARPSTARサテライトの通信状態が表示されます。

3．通信状態を確認したら、［閉じる］をクリックする



無線の通信状態が「良好」となることを確認してください。「良好」と表示されないときは「良好」と表示される位置までパソコンを移動してください。

《お知らせ》

● WARPSTAR は、無線データ通信を行ううえで必要なセキュリティ機能としてWEPとMACアドレスセキュリティを搭載しています。各設定方法の詳細については、ベースマネージャのヘルプを参照してください。

・WEP とは

WEP（ Wired Equivalent Privacy ）は、ユーザが指定した任意の文字列（キー）からデータの暗号化を行う機能です。これにより、WARPSTAR ベースとサテライトとの間で送受信される無線通信データを暗号化して保護することができます。

・MAC アドレスセキュリティ機能とは

お使いの WARPSTARが登録されたサテライトとのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、登録されていない他のサテライトからLANやインターネットへ接続するのを防ぐことができます。

【 3-4 WARPSTARベースの USBポートにパソコンを接続する 】

WARPSTARベースの USBポートにパソコンを接続するときは、①ドライバのインストール→②パソコンの接続→③LANの設定の順で設定を行っていきます。これらは、[WARPSTAR導入ウィザード]で行います。まず最初に、お使いのパソコンにらくらくアシスタントをインストールして、WARPSTAR導入ウィザードを起動してください。

《お願い》

●Ethernetインタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LANカード機能を停止させないと USB-LANドライバが正しくインストールされない場合があります。LANカード機能を停止させてから、WARPSTAR導入ウィザードの設定を行ってください。

●USBケーブルは、ユーティリティの指示があるまで接続しないでください。

WARPSTAR ベースのドライバをアンインストールする

WARPSTAR サテライトの古いドライバをアンインストールします。

1．らくらくアシスタントを起動する

2．[ドライバのアンインストール]をクリックする

3．画面の指示に従ってらくらくアシスタントを終了する

4．アンインストールするドライバを選択する

5．画面の指示に従ってアンインストールを行う

らくらくアシスタントをアンインストールする

古いらくらくアシスタントをアンインストールします。

1．[スタート]→[プログラム]→[Aterm WARPSTARユーティリティ]→[ユーティリティのアンインストール]の順に選択する

2．画面の指示に従ってアンインストールを行う

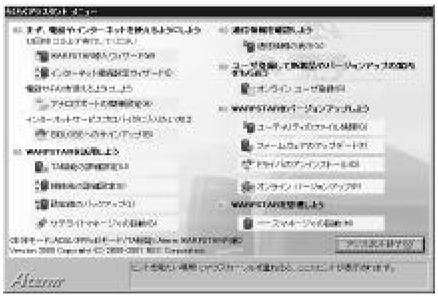
らくらくアシスタントをインストールする

らくらくアシスタントのインストール方法は、「2-3 WARPSTARサテライト（ WL11U ）/(WL11C ）にパソコンを接続する」を参照してください。らくらくアシスタントをインストールし、WARPSTAR導入ウィザードが起動したら、下記の「WARPSTAR導入ウィザードで設定する（ USBポート)」を行ってください。

WARPSTAR導入ウィザードで設定する（ USBポート ）

1．WARPSTAR導入ウィザードを起動する

初めてらくらくアシスタントをインストールしたとき以外は、らくらくアシスタントを起動し、メニュー画面で［WARPSTAR導入ウィザード］ボタンをクリックしてください。



2．［次へ］をクリックする



3．WARPSTARの動作モードを選択して、［次へ］をクリックする

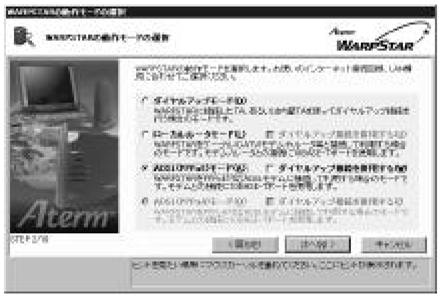
ADSL（PPPoE）接続で ADSLモデムと接続する場合は、「ADSL（PPPoE）モード］をルータタイプの ADSLモデムと接続する場合は、「ローカルルータモード」を選択します。

ここでは［ADSL（PPPoE）モード］を選び、ADSLモデムに接続して利用する場合を説明します。

<WL20R、WB20Rの場合>



<WL50T、WB50T、WL30Aの場合>



[ダイヤルアップ接続を併用する]にチェックをするとADSL接続とダイヤルアップ接続を切り替えて使用できます。

《お知らせ》
ADSL(PPPoE)モードに設定してもダイヤルアップの接続画面が表示される場合は、アクセスマネージャの設定の変更が必要です。(→P.71)

4．［ USBポート］をクリックし、［次へ］をクリックする



5．次の画面が表示されたら、［実行］をクリックする

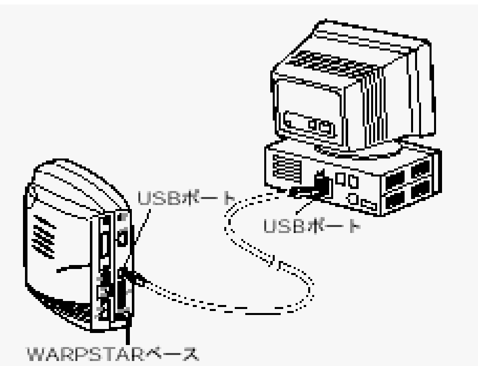


6．WARPSTARベースの電源が入っていることを確認する

7．次の画面が表示されたら、パソコンを添付のUSBケーブルでWARPSTARベースのUSBポートに接続する



コネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認してしっかり差し込んでください。ドライバが自動的にインストールされます。



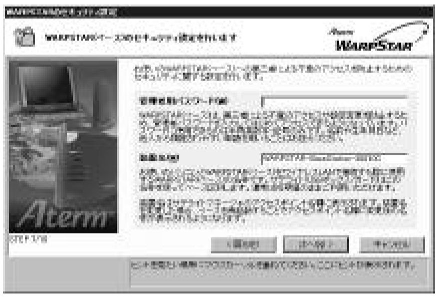
8．［次へ］をクリックする



9．LANの設定を入力する

①［管理者用パスワード］にWARPSTARベースの設定を変更するためのパスワードを入力します。

②［装置名］には、WARPSTARベースの名称を入力します。
通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。



《お願い》

●管理者用パスワードは、あとで必要になります。忘れないようお願いします。

※WARPSTARベースに「管理者用パスワード」が登録済みの場合は、この画面はスキップされます。

10．［次へ］をクリックする

11．パソコンを起動したときにアクセスマネージャが自動起動するかどうかを設定する

［アクセスマネージャをWindows 起動時

に自動的に起動する］がチェックされていることを確認します。



12.［次へ］をクリックする

13. 設定内容を確認し［実行］をクリックする

設定内容を WARPSTARベースに登録します。



14.［設定終了］をクリックする



設定の登録が終了し、らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。
初めてらくらくアシスタントをインストールしたときは[接続設定]をクリックすると、自動的にインターネット接続ウィザードが起動します。
P.66の手順５に進みます。

15. 続けてインターネット接続の設定を行う

らくらくアシスタントから WARPSTAR導入ウィザードを起動した場合は、P.66の手順３に進みます。

《お知らせ》

●管理者用パスワードは、WARPSTARベースをベースマネージャで設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード ______________________________

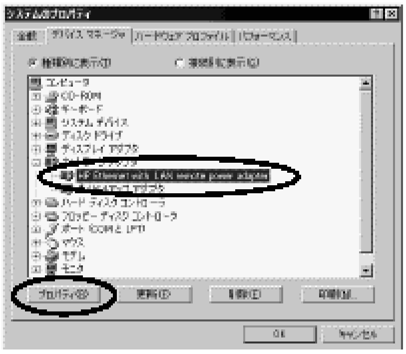
パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、ディップスイッチで WARPSTARベースを工場出荷状態に戻して設定を消去してください。

? LAN カード機能を停止させるには

Ethernetインタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LANカード機能を停止させないとUSB-LAN や WARPSTARサテライトが使用できない場合があります。以下の操作でLANカード機能を停止させてから、WARPSTAR導入ウィザードの設定を行ってください。

〈Windows® Me/98 の場合〉

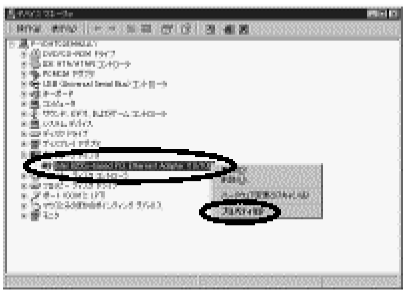
①［スタート］ボタン―［設定］―［コントロールパネル］をクリックする
②［システム］アイコンをダブルクリックする
③［デバイスマネージャ］タブをクリックする
④［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑤不要なネットワークアダプタを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックする



⑥［全般］タブの［このハードウェアプロファイルで使用不可にする］をチェックして［ OK ］をクリックする

〈Windows® 2000 の場合〉

①［スタート］ボタン―［設定］―［コントロールパネル］をクリックする
②［システム］アイコンをダブルクリックする
③［ハードウェア］タブをクリックする
④［デバイスマネージャ］をクリックする
⑤［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑥不要なネットワークアダプタを選択して右クリックする



⑦［無効］を選択する
⑧［はい］をクリックする

？ WARPSTAR ベースのドライバをアンインストールするには

①らくらくアシスタントを起動する
②［ドライバのアンインストール］をクリックする
③画面の指示に従ってらくらくアシスタントを終了する
④アンインストールするドライバを選択する
⑤画面の指示に従ってアンインストールを行う

【 3-5 インターネットの接続設定をする 】

インターネットへの接続の設定は、らくらくアシスタントの案内で簡単に行うことができます。ここでは導入ウィザードで ADSL(PPPoE)モードを選択した場合を説明します。

インターネット接続を設定する

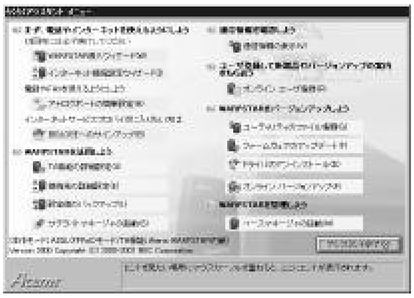
1. らくらくアシスタントを起動する

2. ［次へ］をクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面が表示されます。

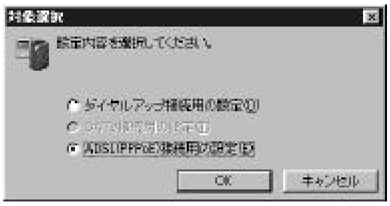


3. ［インターネット接続設定ウィザード］をクリックする



4. WL50T、WB50T、WL30Aの場合で、導入ウィザードで［ダイヤルアップ接続を併用する］をチェックした場合どちらの接続設定をするか選択し［ OK ］をクリックする

以降はADSL(PPPoE)接続用の設定の場合を説明しています。ダイヤルアップ接続用の設定の場合は WARPSTARに添付の取扱説明書を参照してください。



5. ［次へ］をクリックする



6. プロバイダ情報をWARPSTERに登録する場合は［プロバイダ情報を登録する］を選択し［次へ］クリックする

プロバイダ情報を登録しない場合は［プロバイダ情報を登録しない］を選択し手順８へ進みます。



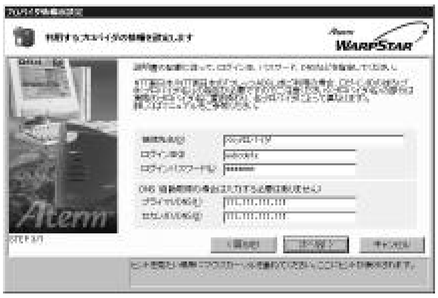
7．プロバイダに接続するための情報を入力して［次へ］をクリックする

①［接続先名］にプロバイダの名称を任意で入力します。

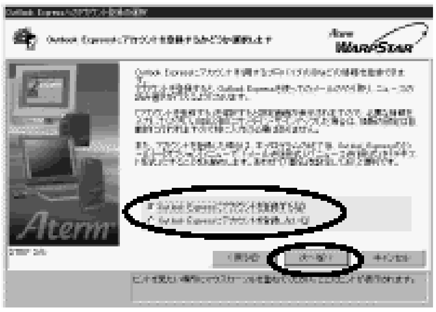
②［ログインID］(ユーザID)を接続事業者からの情報に従って入力します。

［パスワード］をプロバイダからの情報に従って入力します。

［プライマリDNS］［セカンダリDNS］を半角英数字で入力します。



8．Outlook Express を使用する場合は、［ Outlook Expressにアカウントを登録する ］をクリックし、［次へ］をクリックする



Outlook Express の設定をここでしない場合は、［ Outlook Express にアカウントを登録しない ］をクリックし、手順11に進みます。

《お願い》

●Outlook Express については、Outlook Express の取扱説明書を参照してください。

9．メールアカウントとニュースアカウントの情報を入力し、［次へ］をクリックする



10．設定内容を確認し、［実行］をクリックする

WARPSTARベースの設定が自動的に行われ、WARPSTARベースが再起動されます。



11．［設定終了］をクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。



12．らくらくアシスタントを終了するときは［らくらくアシスタント終了］ををクリックする

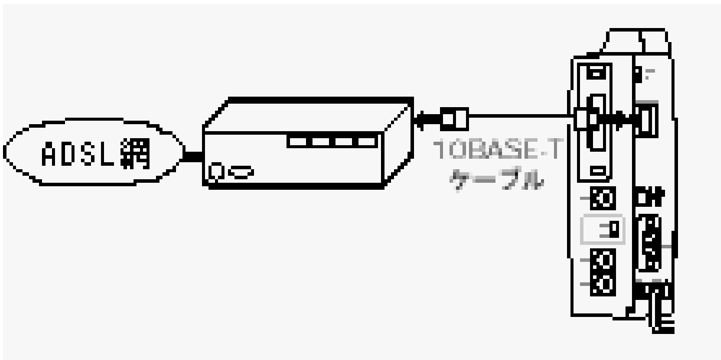
13．続けて WARPSTER ベースと ADSL モデムの接続を行う

ADSL モデムに接続する

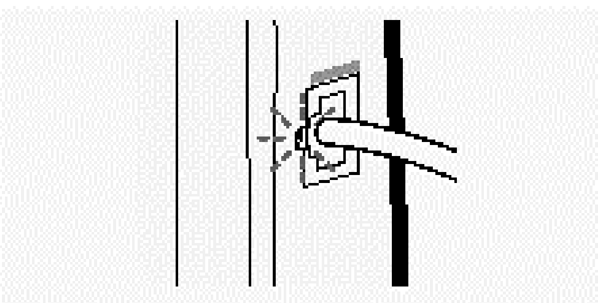
①ADSLモデムがADSL網に正しく接続されている事を確認する。

②WARPSTERベースの電源が入っていることを確認する。

③WARPSTERベースの10BASE-TポートとADSLモデムを10BASE-Tケーブル(ストレート)で接続する。



④10BASE-Tポート状態表示LEDが点灯していることを確認します。



（点灯しないときは次ページを参照してください）

？ 10BASE–Tポート状態表示LEDが点灯しないときは

手順11の④で10BASE–Tポート状態表示LEDが点灯しないときは、WARPSTARベースとADSLモデムが正しく接続できていません。次の手順で誤りがないかどうか確認してください。

①10BASE-Tケーブルの接続を確認する

いったん電源を切り、WARPSTARベースの10BASE-TポートがADSLモデムに10BASE-Tケーブル（ストレート）で正しく接続されているか確認してください。

②カスケード切り替えスイッチを切り替える

電源を切り、WARPSTARベースのカスケード切り替えスイッチを切り替えます。

再度電源を入れてください。

これで問題が解決しない場合は、カスケード切り替えスイッチを戻しておきます。

③ADSLモデムが回線と正しく接続されていることを確認する

10BASE-Tポートを搭載したパソコンをお持ちの場合は、ADSLモデムに直接パソコンを接続して正しく動作することを確認してください。直接パソコンを接続しても正しく動作しない場合は、ADSLモデムおよび通話回線に問題があります。

ご契約の通信事業者にご相談ください。

④①～③を行っても解決しない場合は、WARPSTARベースを初期化する WARPSTARベースの設定を購入時の状態に戻します。初期化する方法については、添付の取扱説明書を参照してください。

⑤WARPSTARベースの自己診断を行う

添付の取扱説明書を参照して、WARPSTARベースの自己診断を行ってください。

①～⑤を行っても問題が解決しないときは、WARPSTARベースが故障している場合があります。

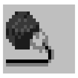
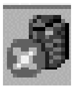
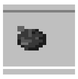
最寄りのNEC保守サービス受付拠点へお問い合わせください。

【 3-6 インターネットに接続する 】

アクセスマネージャで接続状態を確認する

インターネットへの接続／切断の操作や回線状態の表示はタスクトレイの「アクセスマネージャ」で行います。

●タスクトレイの「アクセスマネージャ」のアイコン表示

	WAPSTAR ベースとの通信が可能でインターネット接続されていない状態
	ADSL でインターネットと接続中
	WAPSTAR ベースとの通信ができない状態
	ダイヤルアップでインターネットと接続中

●アクセスマネージャの使い方

①タスクトレイのアクセスマネージャアイコンを右クリックする。

②ポップアップメニューから、行いたい操作を選択する

・状態（接続状態を確認できます）

・ADSL（PPPoE）接続（手動で ADSL（PPPoE）インターネットへの接続を行います）

・切断（手動で切断を行います）

・ ADSL接続先の設定(接続先の設定画面を表示します。接続先を新規に作成したり、修正することができます。)

・ログの表示（WARPSTAR のログを表示します）

・らくらくアシスタント（らくらくアシスタントを起動します）

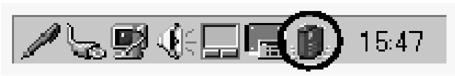
・Windows 起動時に自動起動する（アクセスマネージャを Windows 起動時に自動起動するよう登録または解除します）

・ヘルプ（ヘルプを起動します）

・終了（アクセスマネージャを終了します）

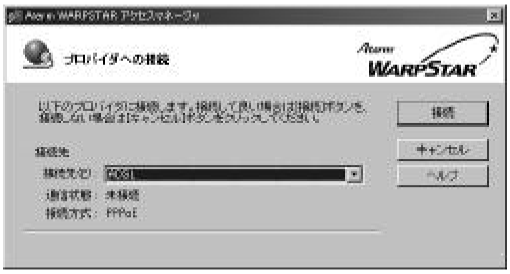
ADSLでインターネットに接続する

1．タスクトレイのアクセスマネージャアイコンを右クリックする



2．メニューから［ADSL(PPPoE)接続］をクリックする

3．［接続］をクリックする



インターネット接続が開始されます。



4．WWWブラウザや電子メールソフトなどのアプリケーションを起動する

接続中は、インターネットアプリケーションを利用することができます。WARPSTAR には、インターネットアプリケーションは添付していません。Windows に付属のものをご利用になるか、別途ご用意ください。

5．終了するときは、タスクトレイのアクセスマネージャアイコンを右クリックする

6．［切断］をクリックする

《お知らせ》

●WL50T、WB50T、WL30Aの場合、WARPSTAR導入ウィザードでローカルルータモードに設定してもダイヤルアップの接続画面が表示される場合があります。その場合は次の手順で設定を変更してください。

①アクセスマネージャのアイコンを右クリックして［オプションの設定］を選択します。

②［接続先の選択］タブの［通常使用する接続先の選択］欄で［ブロードバンド/ADSL（PPPoE）接続］を選択します。

③［ OK ］をクリックして［オプションの設定］画面を閉じます。

《お知らせ》

●Windows® Me / 98 / 2000 でご利用の場合には、WWWブラウザ（Internet Explorer等）やメールソフトの設定がLAN 接続の設定になっている必要があります。

ブラウザやメールソフトを起動したときに、アクセスマネージャの「プロバイダへの接続」が起動せずにダイヤルアップ接続が起動してしまう場合には、ダイヤルアップ接続する設定になっていますので設定を変更してください。

設定の変更方法についての詳細は各ソフトウェアの製造メーカー（ Microsoft 等）にご確認ください。

以下は InternetExplorer 5 の場合の設定方法の一例です。

お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェア等）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

①InternetExplorer のアイコンをダブルクリックして、InternetExplorer を起動します。

②「ツール」の「インターネットオプション」を選択します。

③「接続」タブをクリックします。

④ダイヤルアップの設定の欄で、「ダイヤルしない」を接続してください。



また、プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプレインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）はダイヤルアップ接続（モデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。

その場合WARPSTAR にLAN接続されたパソコンからは実行できません。

プログラムの使用方法等、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカにご確認ください。

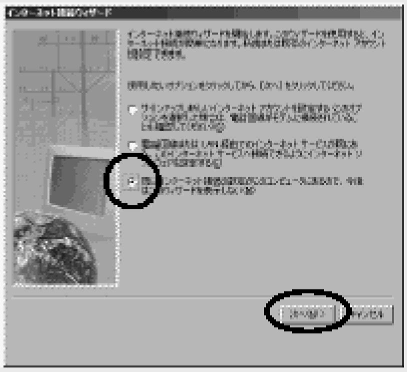
《お知らせ》

●Windows® 98 をご使用の場合でデスクトップにWWWブラウザソフト（Internet Explorer ）アイコンがないときは、以下の手順で［Internet Explorer］アイコンを作成します。

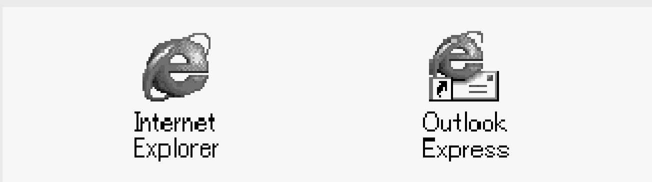
①デスクトップの「インターネットに接続」アイコンをダブルクリックします。
「インターネット接続ウィザード」画面になります。



②「既にインターネット接続の設定が・・・表示しない」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



③［インターネット接続ウィザード］を終了します。
デスクトップに［Internet Explorer ］と［Outlook Express ］のアイコンが表示されます。



《お知らせ》

●タスクトレイのアクセスマネージャのアイコンが下記の状態の間は、接続したままの状態が続いています。（ WWWブラウザなどのアプリケーションを終了しても自動的に切断されません）セキュリティの向上のためインターネットを使用していないときはアイコンを右クリックして［切断］をクリックして忘れずに切断してください。





●接続先のプロバイダやサーバ、接続時間帯、データ転送の特徴などにより、接続回線速度のパフォーマンスが十分得られないことがあります。

● USBポートにパソコンを接続して通信アプリケーションを実行中に、USBケーブルを抜いたり電源を切ったりすると、通信アプリケーションと USBドライバとの結合をシステムが解放します。引き続き通信アプリケーションをご利用になる場合は、通信アプリケーションをいったん終了して、正しく接続しなおしてから再度実行してください。

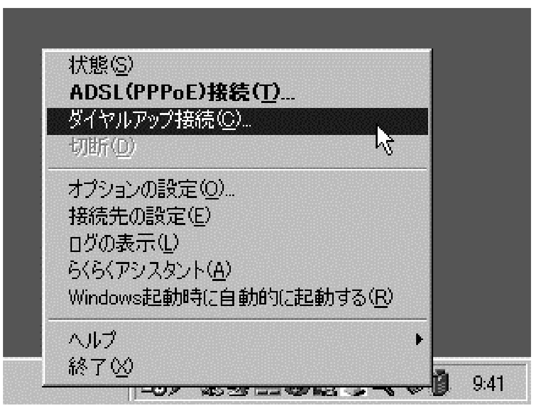
ADSL 接続とダイヤルアップ接続を切り替えてインターネットする

WL50T、WB50T、WL30A の場合アクセスマネージャを使って、１台のパソコンでダイヤルアップ接続と ADSL 接続を切り替えて接続すること（マルチライン）ができます。（複数台のパソコンから ADSL 接続、ダイヤルアップ接続を同時に利用することもできます）

１．［スタート］→［プログラム］→［ Aterm WARPSTAR ユーティリティ］→［ Aterm WARPSTAR アクセスマネージャ］を選択し、アクセスマネージャを起動する

２．アクセスマネージャのアイコンを右クリックして接続方法を選択する

ここではダイヤルアップ接続を選択しています。

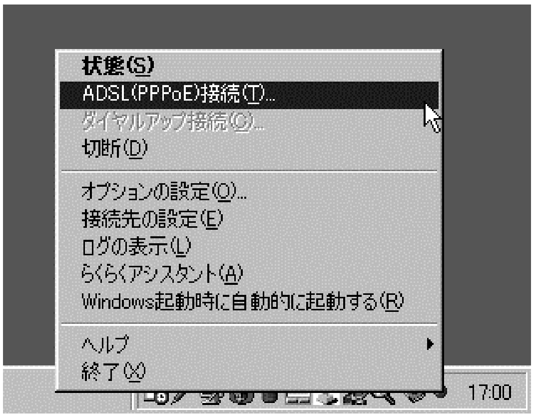


3．［接続］をクリックする

4．接続中のアクセスマネージャを右クリックして接続方法を選択する

１台のパソコンで ADSL への接続中または、ダイヤルアップ接続中にもういっぽうを選択すると、現在の接続を切断して、あらたに接続することができます。別のパソコンから接続するときは切断せずに接続を追加できます。

ここではダイヤルアップ接続中にADSL 接続を選択します。



5．［接続］をクリックする

ダイヤルアップ接続からADSL 接続に切り替わります。

《お知らせ》

●WL20R、WB20R、ADSL 接続とダイヤルアップ接続を切り替えてインターネットすることはできません。

●ダイヤルアップ接続の接続先をあらたに追加する場合は、らくらくアシスタントの［インターネット接続設定ウィザード］で設定するか［接続先の詳細設定］で 設定します。

4　LAN機能について

Windows®Me　は、Microsoft®Windows®Millennium Edition operating system　の略です。

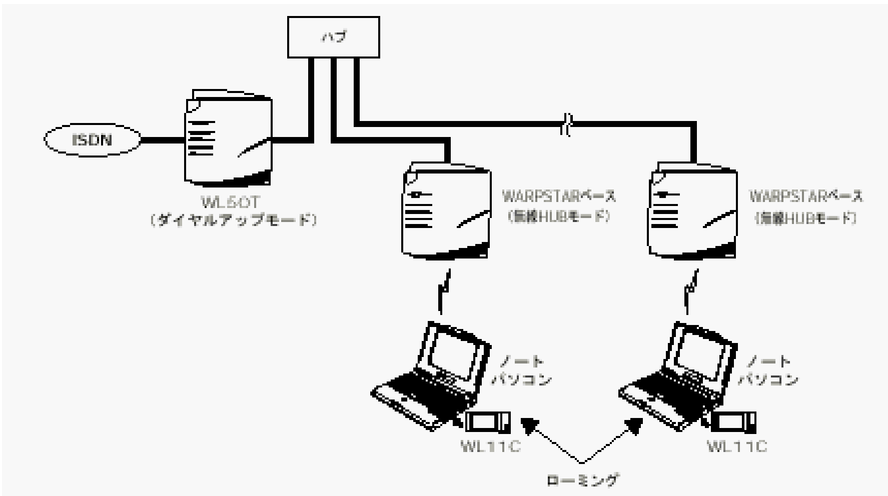
Windows®98　は、Microsoft®Windows®98 operating system　の略です。

Windows®2000　は、Microsoft®Windows®2000 operating system　の略です。

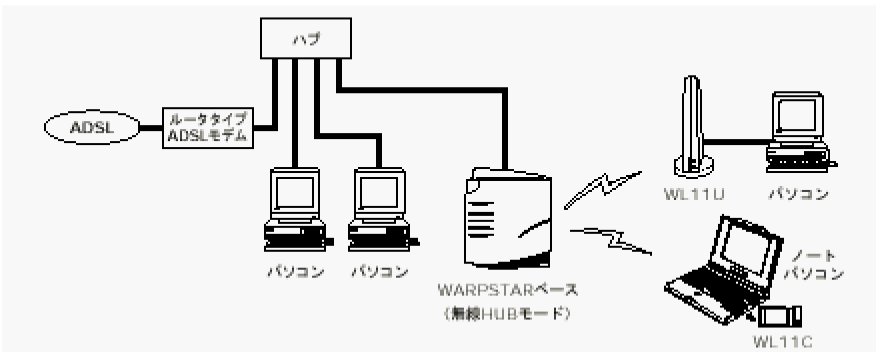
【4-1 無線HUBモードによるネットワーク拡張 】

WARPSTER では、無線HUB（ハブ）モードを利用して、下記のような構成でネットワークを拡張できます。設置方法は、下の図に基づいて説明を行います。WB50T、WB20Rの場合は、拡張カード（ WL11C ）を装着してご利用ください。

〈無線HUBモードで複数の WARPSTARベースを使う〉



〈ルータタイプの ADSL モデムに無線アクセスポイントを追加する〉



※この場合は、アクセスマネージャは使用しません。導入ウィザードでWindows 起動時に自動起動しない設定にしてください。

《お知らせ》

●ルータタイプの ADSL モデムに直接10BASE-Tケーブルで WARPSTARベース（無線 HUB モード）を接続することもできます。

《お願い》

●無線ローミングは、同一ネットワークに存在する WARPSTARベース間でのみ行うことが可能です。ネットワーク名およびネットワークアドレス（サブネット）の異なるネッワーク間では、ローミングを行うことができません。
ネットワークを構成するために必要な、ハブや10BASE-T ケーブル（ストレート）は、お客様の方でご用意ください。

● WARPSTARベースを無線HUBモードに設定すると、らくらくアシスタントやベースマネージャによる各種設定ができなくなります。設定変更する場合は、ネットワーク（10BASE-Tポート）からはずして、ディップスイッチの3を［ OFF ］にして、無線HUBモードを解除してからベースマネージャで設定を変更してください。（P.83）

無線 HUB モードの設定手順

WARPSTAR ベースを無線 HUB モードで使うには、次の手順で設定を行います。

・WARPSTAR導入ウィザードで設定する
・ベースマネージャでネットワーク設定を変更する
・サテライトマネージャの設定を変更する
・無線 HUBモードを設定する
・WARPSTARベースをネットワークに接続する
・無線接続するパソコンの利用範囲を確認する

次ページから順番に説明しています

WARPSTAR導入ウィザードで設定する

■らくらくアシスタントをインストールする

以下の説明は、 WL11C を例にして行います。

1．ホームページ AtermStationからダウンロードしてきたファイルをダブルクリックする

2．［次へ］をクリックする

3．［次へ］をクリックする

4．画面の同意書を読み、同意できる場合は、［次へ］をクリックする

5．［完全］を選択し、［次へ］をクリックする



6．表示されたインストール先を確認し、［次へ］をクリックする

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックしてください。

7．［はい］をクリックする

インストールが開始されます。

8．［ README の表示］にチェックが入っていることを確認し、［完了］をクリックする

9．README をお読みいただき、［ README ］画面を閉じる

インストールが完了します。

らくらくアシスタントのインストールが完了すると WARPSTAR導入ウィザードが自動的に起動します。

10．［キャンセル］をクリックして導入ウィザードを中断する

■ WARPSTAR 導入ウィザードで設定する

1．らくらくアシスタントのメニュー画面で［WARPSTAR導入ウィザード］をクリックする

2．［次へ］をクリックする

3． WARPSTAR の動作モードを選択し、［次へ］をクリックします

4．［ワイヤレスLAN(カード)］を選択し、［次へ］をクリックする

5．［実行］をクリックする

6．［接続待ち］画面が表示されたら、WL11C をパソコンに取り付けるドライバがインストールされます。
既にドライバがインストール済みの場合はスキップされます。

7．［次へ］をクリックする

8．WARPSTARベースの電源を入れる
WARPSTARベースの電源がすでに入っている場合は、電源をいったん切り、入れ直してください。
Powerランプ、Readyランプ、 Dataランプが点滅したあと、 Powerランプが緑色に点灯します。

9．WARPSTARベースが正しく起動していることを確認し、［実行］をクリックする

10．接続する WARPSTARベースのネットワーク名を選択し、［ OK ］をクリックする

> 《お知らせ》
> ●工場出荷時のネットワーク名は「WARPSTAR-××××××」です。（××××××は、WARPSTARベースの背面に記載されている10BASE-TのMACアドレスの下6桁です）

11．［ OK ］をクリックする
通信モードは［アクセスポイント通信］のままにしてください。
これでWL11C の設定が終了します。

12．［次へ］をクリックする

13．LAN の設定を入力する
・［管理者用のパスワード］には、WARPSTARの設定を変更するためのパスワードを入力します。
パスワードには、任意の英数字半角20文字まで入力できます。
・［装置名］には、WARPSTARの名称を入力します。通常はお買い上げ時の設定のままでかまいません。

> 《お知らせ》
> ●管理者用パスワードは、WARPSTARベースをベースマネージャで設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

14．［次へ］をクリックする

15．パソコンを起動したときに起動するユーティリティを設定する

［アクセスマネージャを Windows 起動時に自動的に起動する］がチェックされていることを確認します。

※ルータタイプのブロードバンドモデム等WARPSTAR以外のルータに接続するときはチェックをはずしてください。

サテライトマネージャを自動的に起動するときは、［サテライトマネージャをWindows起動時に自動的に起動する］をチェックします。

16．［次へ］をクリックする

17．設定内容を確認し、［実行］をクリックする

WARPSTAR にLANで通信するための設定を登録します。

18．［設定終了］をクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

※無線HUBモードのみでご使用になる場合は、インターネットの接続設定は必要ありません。らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

ベースマネージャでネットワーク設定を変更する

WARPSTARベースが2台以上あるときはネットワーク名を同一のものに変更します。

1．らくらくアシスタントの［ベースマネージャの起動］をクリックする

2．WARPSTARベースの管理者用パスワードを入力し、［ OK ］をクリックする
ベースマネージャが起動します。

3．［無線 LAN設定］タブをクリックする

4．［ネットワーク名］に、任意のネットワーク名（ 2台目以降は同じネットワーク名）を入力する
例：ネットワーク名＝NEC-NETWORK1

《お知らせ》
●無線ネットワークにセキュリティをかける場合は、ここで［子機の接続制限］や［暗号化］の設定も行ってください。また、電波干渉などで無線チャネルを変更する場合も同様にここで変更してください。

5．［ OK ］をクリックする
設定値が登録されます。

6．［ OK ］をクリックする
WARPSTARベースが再起動し、らくらくアシスタントのメニュー画面が表示されます。

《お知らせ》
● WARPSTAR ベースが再起動したあと、ネットワーク名が変わったため「 WARPSTARベース（親機）がみつかりません」のエラー表示が出る場合があります。その場合はサテライトマネージャで同じネットワーク名に設定し直してください。

サテライトマネージャの設定を変更する

1．タスクトレイの［サテライトマネージャ］アイコンを右クリックする

タスクトレイにアイコンがない場合は、［スタート］－［プログラム」－［Aterm WARPSTARユーティリティ］－［Aterm WARPSTARサテライトマネージャ］をクリックしてください。

2．［設定］をクリックする

サテライトマネージャが起動します。

3．［基本］タブの［ネットワーク名］をベースマネージャで変更した名前に書き換える

4．［ OK ］をクリックする

サテライトマネージャが終了します。

《お知らせ》

●ここで、下記の手順で通信状況が「良好」になることを確認してください。

①タスクトレイの「サテライトマネージャ」を右クリックする

②［状態］をクリックする

→通信状況が表示されます

無線 HUB モードを設定する

ディップスイッチで WARPSTARベースを無線 HUBモードに変更します。

１．WARPSTAR ベースの電源を切る

２．装置底面のカバー開ける

３．ディップスイッチの 3を「 ON 」にする

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「 ON 」側に倒してください。



（WL30A、WL20R、WB20Rの場合）





（WL50T、WB50Tの場合）

４．WARPSTAR ベースの電源を入れる

《お願い》

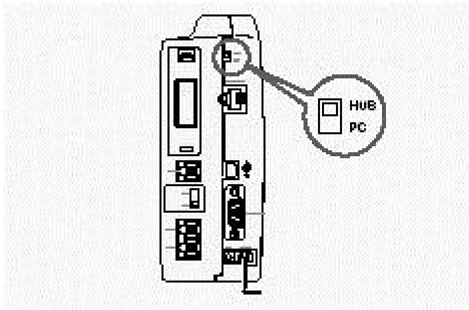
● WARPSTARベースを無線 HUBモードに設定すると、らくらくアシスタントやベースマネージャによる各種設定ができなくなります。設定変更する場合は、ネットワーク（10BASE-Tポート）からはずして上記と逆に、ディップスイッチの3を［ OFF ］にして、無線 HUB モードを解除してからベースマネージャで設定を変更してください。

WARPSTARベースをネットワークに接続する

■ WARPSTARベースをネットワークに接続する

1．WARPSTARベースの背面にある「10BASE-Tポート」を、添付の10BASE-Tケーブル（ストレート）で上位ネットワークのハブへ接続する

2．WARPSTARベースの背面の「カスケード切替スイッチ」を「 HUB 」側に設定する



■ WARPSTARベース及びハブの接続を確認する

WARPSTARベース及びハブの電源を入れ、それぞれのLANポートが正しく接続されていることを確認します。

・WARPSTARベースの場合は、背面の「10BASE-Tポート状態表示ランプ」が点灯します。

※使用する10BASE-Tケーブル、ハブのポート仕様によっては「カスケード切替スイッチ」を反対側にしないと通信できない場合があります。「10BASE-Tポート状態表示ランプ」が点灯するように「カスケード切替スイッチ」を切り替えてください。

※必ず無線HUBモードにしてから、上位ネットワーク（10BASE-Tポート）に接続してください。また無線HUBモードを解除する場合は、必ず上位ネットワーク（10BASE-Tポート）から外してから、解除してください。

・上位ネットワークのハブについては、ハブの取扱説明書をご覧ください。

■ WARPSTARサテライトからのインターネット接続を確認する

増設したそれぞれの WARPSTERベースごとにインターネット接続ができることを確認します。

1．１台の WARPSTARベースのみ電源を入れる

WARPSTARベースを複数台接続している場合は、接続確認を行う1台のみを除いて、他のWARPSTARベースは電源を切ってください。

> 《お願い》
> ●電源を入れたまま WARPSTARベースが複数台あると、無線が他の WARPSTARベース経由で接続してしまい、正しく確認できない場合があります。
> WARPSTARベースからのインターネット接続の確認は、1台ずつ行ってください。

2．WARPSTARサテライト（ WL11U または WL11C ）を接続したパソコンから、インターネット接続の確認を行う

増設したそれぞれの WARPSTARベースごとインターネット接続ができることを確認します。

ISDN 回線にWL50Tをルータとして接続してご使用の場合は、アクセスマネージャを使って、接続/切断を行います。
ルータタイプのブロードバンドモデムにネットワークで接続している場合はアクセスマネージャは使えません。アクセスマネージャを終了させ、ブロードバンドモデムの取扱説明書に従って操作してください。

無線接続するパソコンの利用範囲を確認する

すべての WARPSTARベースの電源を入れ、無線接続するパソコンの利用範囲を確認します。

1．すべての WARPSTARベースの電源を入れる

2．WARPSTARサテライト（ WL11U または WL11C ）を 接続したパソコンのタスクトレイ［サテライトマネージャ］アイコンを右クリックする

3．メニューの［状態］をクリックする

無線の通信状態が表示されます。

4．パソコンの場所を変えながら［通信状況］と［速度］を確認する



《お知らせ》

- **●無線の通信状況が「限界」、または「2Mbit/s 以下」になる場合は、通信が切断されたり不安定になる場合があります。**
  このような場合は、WARPSTARベースの配置場所を変えたり、WARPSTARベースを増設したりして対処してください。
- **●WARPSTARサテライトが、複数の WARPSTARベースの電波範囲にある場合は、電波強度の強い方を経由して通信を行います。サテライトの位置を移動した場合には、自動的に通信エリアが切り替わります。**

お困りのときには

WARPSTAR ネットワーク接続を行う際、正しく動作しないときにお読みください。

■ネットワークの参照ができない場合

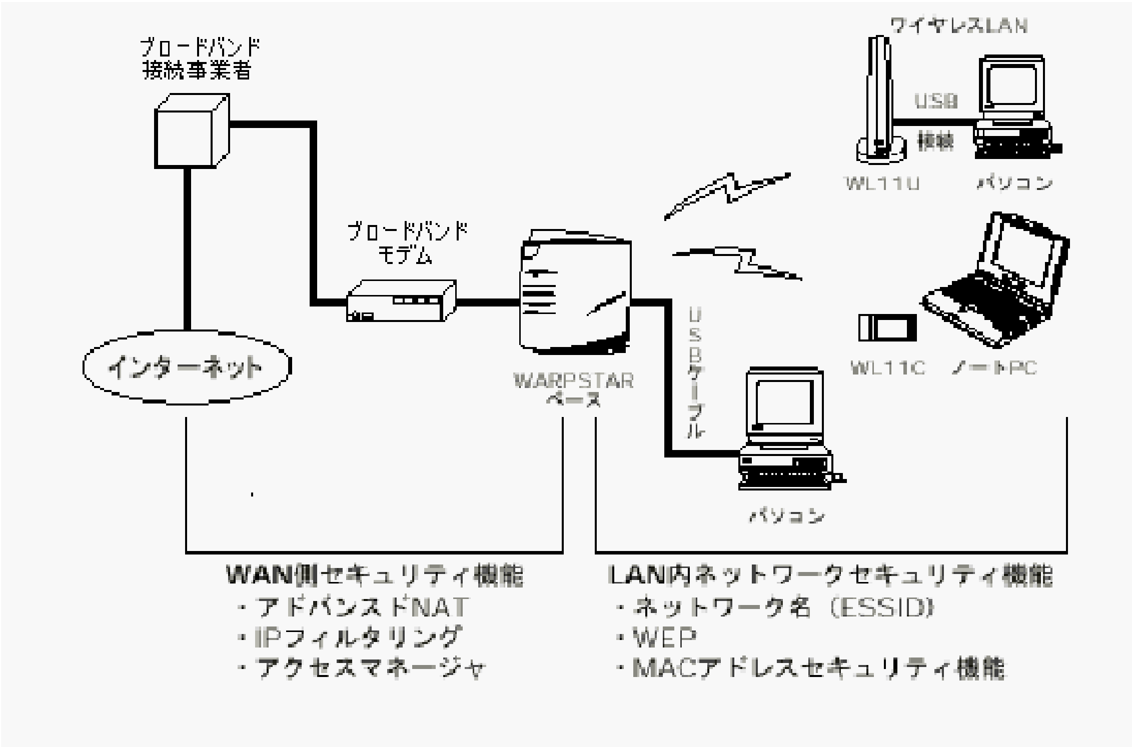
WL11U/WL11C で接続する場合で、「WARPSTAR 導入ウィザード」の［ネットワーク参照］でWARPSTARベース（親機）が見つからない場合は、下記の操作を行ってください。

①一番近くの WARPSTARベースの電源を入れ直す。

②タスクトレイの［サテライトマネージャ］を右クリックし、［設定］→［ネットワークの参照］を設定し直す。または、P.43で設定した［ネットワーク名］を直接入力し、［ OK ］をクリックする。

【 4-2 WARPSTAR のセキュリティ機能について 】

WARPSTAR のセキュリティ機能には、無線LANネットワーク内のセキュリティとCATV/ADSL網からの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。



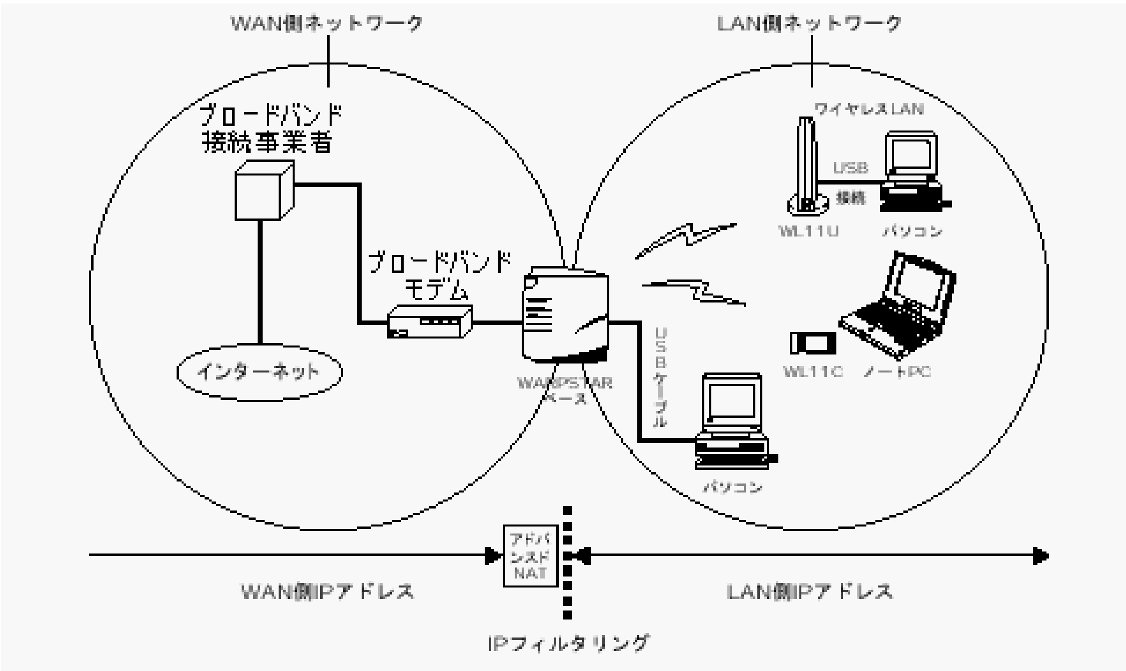
WAN側へのセキュリティ機能

WARPSTAR では、インターネット接続状態における CATV/ADSL網へのセキュリティ機能として次の3つをそなえています。

・アドバンスド NAT
・IPフィルタリング
・アクセスマネージャ

特に WARPSTAR 独自のアクセスマネージャでは、パソコンごとに CATV網への接続を制御して、必要のないときにはインターネットとパソコンのコネクションを切り離すことで WARPSTAR に接続されたパソコンのネットワークの安全性を確保します。

それぞれの機能について説明します。



■アドバンスド NAT 機能

NAT（ Network Address Translator ）とは、インターネット上で使われるグローバルアドレス（インターネット上で1つしかないIPアドレス）をプライベートアドレス（ LANで任意に設定できるIPアドレス）に変換する機能です。アドバンスドNATは、1つのグローバルアドレスを複数のプライベートアドレスに変換することができます。
このアドバンスドNAT機能により、外部からは、各パソコンのIPアドレスはみえず、LAN側のパソコンへの不正な直接アクセスを防ぐ効果があります。
また、アドバンストNATオプションの設定で、細かいアクセス制御をすることで、ネットワークゲームに対応することも可能です。

詳しい設定の方法は、ベースマネージャのヘルプを参照してください。

■フィルタリング機能

WARPSTAR では、不正なアクセスや不必要なIPパケットの送受信を制限することができます。

詳しい設定の方法は、ベースマネージャのヘルプを参照してください。

■アクセスマネージャによる接続設定機能

アクセスマネージャで接続先を指定してコネクションすることにより、外部からの不正なアクセスを防止することができます。またアクセスマネージャでインターネットの接続方法（自動／手動／表示など）を選択することができます。

■接続方法を選択する

1．タスクトレイのアクセスマネージャのアイコンを右クリックする

2．メニューから［オプションの設定］を選択する

3．［接続確認］タブをクリックし、接続方法を設定する



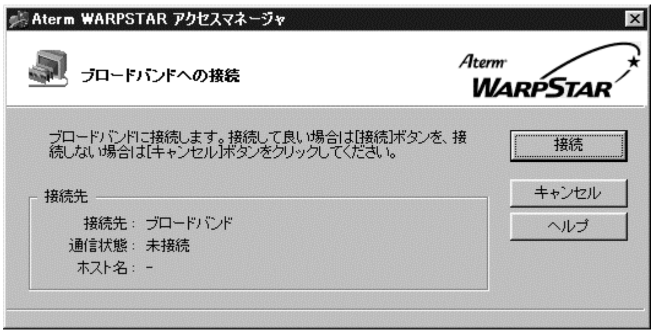
4．接続方法の設定を行う

5．設定後は、［ OK ］をクリックして閉じる

■設定例

①タスクトレイのアクセスマネージャのメニューから手動で接続／切断を行う設定です。接続確認の自動ポップアップはされません。
アクセスマネージャの［オプションの設定］では、［インターネットへの接続を自動検出しない］をチェックします。

② WWW ブラウザやメールソフトを使って、インターネットへ接続するたびに、WARPSTAR でアクセスマネージャの接続確認の画面を表示する設定です。接続確認画面で［ OK ］することでインターネットに接続するので、意図しない接続を防ぐことができます。また、この手順は、ADSL のように接続するプロバイダを切り替えながら接続する場合にも便利です。
アクセスマネージャの［オプションの設定］では［自動検出後、確認メッセージを表示する【推奨】］を選択します。

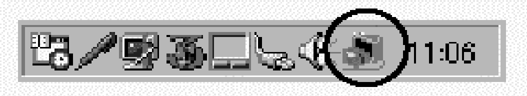


③接続確認の画面を省略する設定です。ただしインターネットへの接続が完了したことを知らせる画面がでるので、インターネットに接続したことを簡単に知ることができます。
アクセスマネージャの［オプションの設定］では［自動検出後、確認メッセージを表示しない］を選択し、下の欄の［接続後に通知メッセージを表示する］をチェックします。



●この場合パソコンのアプリケーションで、インターネットへパケットを自動発信するような設定になっていた場合、自動的にインターネットへ接続されることになりますので、無人でパソコンを運用する場合などは十分ご注意ください。
ただし、パソコン画面に接続完了の画面が表示されるので意図しない接続の発見が簡単にできます。

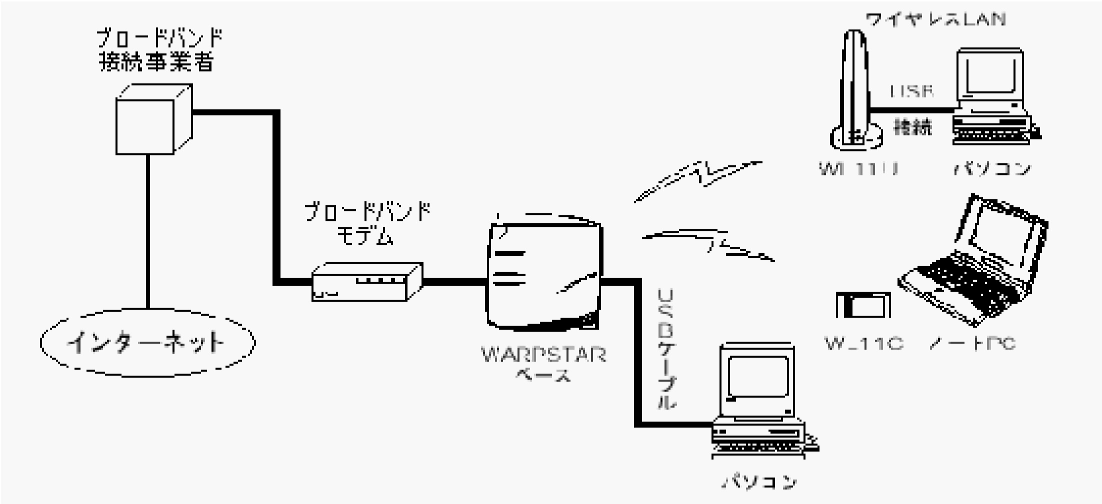
④接続確認の画面と接続完了の画面の両方を省略する設定です。この場合、使い勝手は通常のブロードバンドルータとほぼ同じになります。タスクバーのアクセスマネージャのアイコンの状態で接続状況を確認できます。アイコンが下記の場合は接続中です。アクセスマネージャの［オプションの設定］では［自動検出後、確認メッセージを表示しない］を選択し、下の欄の［接続後に通知メッセージを表示する］のチェックをはずします。



●この場合無人でパソコンを運用する場合には、意図しない接続がされてしまうおそれがありますので、十分な知識が必要となります。また、パソコン画面にも接続完了の画面が表示されません。アクセスログのみが履歴となりますので、運用時にはアクセスログをチェックすることを強く推奨します。（ロギング機能についてはそれぞれに添付のCD－ROMに収録されている「データ通信ガイド」を参照にしてください。）

無線ネットワーク内のセキュリティ機能

WARPSTAR は、WARPSTAR に接続されたパソコンで、ネットワーク内の無線データ通信を行うときに必要なセキュリティ機能としてWEPとMACアドレスセキュリティを搭載しています。



■ネットワーク名（ ESSID ）

無線LAN機器が、通信するお互いを識別するIDとしてネットワーク名（ ESSID とも呼びます）を設定します。このネットワーク名が一致しないと無線通信ができません。一般にネットワーク名は検索することができますが、WARPSTARの初期設定ではこの検索に応答しないようにしています。ただし、電源を入れて最初の30分間は、検索に応答しますので、ネットワーク名を忘れて検索するときは、WARPSTAR ベースの電源を入れ直して、30分以内にネットワークの参照を行ってください。

■ WEP

ユーザが指定した任意の文字列（暗号化キー）を WARPSTAR ベースと WARPSTAR サテライトに登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、WARPSTARベースとサテライトとの間で送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からのぼう受や盗聴から守ります。

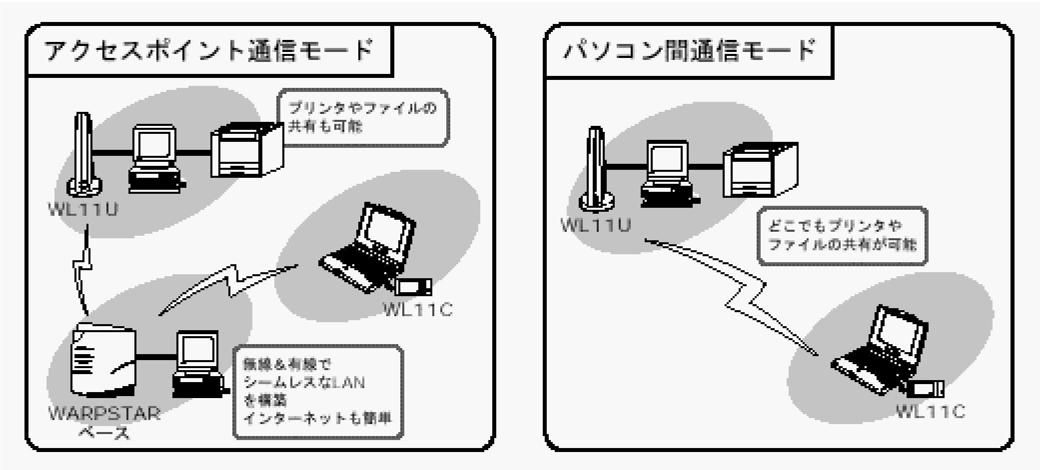
■ MAC アドレスセキュリティ機能

MAC アドレスを使ってお使いの WARPSTAR が登録されたサテライトとのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、他のサテライトからLANやインターネットへ接続するのを防ぐことができます。

WEP／MAC アドレスセキュリティ機能の設定方法についてはベースマネージャのヘルプを参照してください。

【 4-3 パソコン間通信（アドホックモード） 】

WARPSTARサテライト（無線子機）は、WARPSTARベース（無線親機）を介さずに直接パソコン間通信を行う［パソコン間通信］モードを持っています。



《お知らせ》

● WARPSTARベースを介して行う通信を「アクセスポイント通信」(インフラストラクチャーモードとも呼びます)、WARPSTAR サテライト同士の通信を［パソコン間通信］（アドホックモードとも呼びます）と呼びます。
これらのモードは、サテライトマネージャで切り替えて、使用することができます。

ワンポイントアドバイス

インターネット接続やサーバを利用したネットワークの構築には、［アクセスポイント通信］モードが適しています。
パソコン間で簡易的に直接ファイルの交換などを行う場合には、［パソコン間通信］モードが適しています。

？ アクセスポイント通信とパソコン間通信を簡単に切り替えたい場合

WARPSTARサテライト（ WL11U/WL11C ）からの通信相手装置（ WARPSTARベースまたはサテライト）が複数ある場合、それぞれの通信相手装置ごとのプロファイルを登録しておけば、通信相手を変えるたびに設定データを書き換えなくてもプロファイルの選択を切り替えるだけで接続先を変更できます。

プロファイルとは、サテライトマネージャの「設定データ」を指し、サテライトマネージャではこのプロファイル「設定データ」を最大4つまで保存できます。

（ WL11U 設定とWL11C 設定は、それぞれ別のプロファイルに保存されます）



①まず、サテライトマネージャの［プロファイル］タブで、1番目のプロファイル（デフォルト）を選択します。

②［基本］タブで、通信モード［アクセスポイント通信］を指定し、WARPSTARベースのネットワーク名を指定して［ OK ］ボタンを押します。

③次に、サテライトマネージャの［プロファイル］タブで、2番目のプロファイル（ プロファイル2 ）を選択します。

④［基本］タブで、通信モード［パソコン間通信］を指定し、通信相手の WARPSTAR サテライト（子機）と同一のネットワーク名、チャネルを設定し、［ OK ］ボタンを押します。

上記のプロファイル設定後、プロファイルを切り替えるだけで、アクセスポイント通信、パソコン間通信の相手を指定することができます。

パソコン間通信モードに設定する

WARPSTARサテライト間で直接パソコン間通信を行うための設定方法について説明します。

■サテライトマネージャで設定する

1．タスクトレイの［サテライトマネージャ］を右クリックする

2．メニューの［設定］をクリックする



3．使用するプロファイルを選択する



4．［基本］タブの［通信モード］のプルダウンボタンをクリックし、［パソコン間通信］を選択する



5．［ネットワーク名］を入力する

ネットワーク名は、パソコン間通信するすべてのパソコンで、同じ名前を入力してください。

ネットワーク名は、半角英数字で入力してください。

6．［チャネル］のプルダウンボタンをクリックし、使用する無線チャネルを選択する

［チャネル］は、1～14 のどこでも使えますが、電波干渉がある場合に変更してください。

7．［ OK ］をクリックする

8．パソコン間通信を行うすべてのパソコンで、手順 1 ～ 7 を行ってください

■ 無線の通信状態を確認する

1．タスクトレイの［サテライトマ ネージャ］を右クリックする

2．メニューの［状態］をクリックする

無線の通信状態が「良好」になることを確認してください。「良好」にならない場合には、「良好」と表示される位置までパソコンを移動させてください。

3．［閉じる］をクリックする

《お願い》

● ［パソコン間通信］モードのパソコンの［ネットワーク名］を近くの WARPSTAR ベースと同じネットワーク名に設定すると、WARPSTARベースとの通信が優先されてしまい、パソコン間通信が正しくできない場合があります。
同じエリア内にある他の WARPSTARベースと異なる［ネットワーク名］を設定してください。

ファイルやプリンタを共有する

ファイルやプリンタを共有するときには、サーバ／クライアントごとに添付ＣＤ-ＲＯＭに収録されている「データ通信ガイド」の「ファイルとプリンタの共有」の手順に従って、下記の設定を行ってください。

■サーバの設定を行う

１．ネットワークコンポーネントを確認する

２．不足しているネットワークコンポーネントを追加する

・Microsoft ネットワーククライアント（Windows 2000 の場合は「Microsoft ネットワーク用クライアント」）

・TCP/IP （Windows 2000 の場合は「インターネットプロトコル（TCP/IP)」）

３．コンピュータ名／ワークグループを設定する

４．Microsoft ネットワーク共有サービスをインストールする

(Windows 2000 の場合は「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタの共有」)

５．ファイルやプリンタの共有設定を行う

設定に関するお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願い致します。

■クライアントの設定を行う

１．ネットワークコンポーネントを確認する

２．不足しているネットワークコンポーネントを追加する

・Microsoft ネットワーククライアント（Windows 2000 の場合は「Microsoft ネットワーク用クライアント」）

・TCP/IP （Windows 2000 の場合は「インターネットプロトコル（TCP/IP)」）

３．コンピュータ名／ワークグループを設定する

４．ファイルやプリンタの共有設定を行う

設定に関するお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願い致します。

《お願い》

● TCP/IP を使ってパソコン間通信を行うときに、DHCP サーバが存在しないため、IP アドレスが正しく設定されずに通信できないことがあります。このような場合には、［コントロールパネル］－［ネットワーク］を開き、［現在のネットワークコンポーネント］欄で「TCP/IP→ AtermWL11C（PC-WL11C)」のプロパティを開き、手動で IP アドレスを設定してください。